

VOL.37
WEST
2026.October
TAKE FREE

MEG

Mixture Entertainment Guide

Cover Artist
Special Interview

立川談春

第4回『玉響』還暦記念公演について
意気込みを語ってもらった

CITY POP

世代を越え、海を越えて。
いまも人を惹きつける、その魅力。

Special Interview

尾崎亜美／鈴木 茂／八神純子
須山暢大／杉本沙織
柴田真郁／アルヴォ・ヴォルマー
沖澤のどか

びわ湖ホール プロデュースオペラ
『ドン・ジョヴァンニ』制作発表

松山バレエ団『くるみ割り人形』
大阪公演 記者会見

猪居亜美／高橋恵子

ミュージカル『101ダルメシアンズ』
制作発表 記者会見

藤山大樹／山部泰嗣

〈掲載順〉

MEG Cover Artist Special Interview

Dansyun Tatekawa

「落語家にとって還暦は、やっとスタートライン」。
そう語る立川談春が還暦を迎え、第4回『玉響(たまゆら)』を12月27日(日)、大阪・フェスティバルホールで開きます。
ゲストは笑福亭鶴瓶とグレープ(さだまさし・吉田政美)。
二ツ目時代から縁を結び、憧れ続けてきたふたりを迎える今、「甘えるのではなく、ちゃんと伍さないと」と自らに課す談春。
大舞台で『居残り佐平次』に挑む、その高座への覚悟を聞きました。

―― ゲストに笑福亭鶴瓶さんとグレープを迎えた理由を教えてください。

鶴瓶師匠との縁をつないでくださったのは、さだまさしさんです。さださんと鶴瓶師匠は古くからの友人で、世の中にはまったく出ていなかった二ツ目の僕のことを、さださんが鶴瓶師匠に話してくれたおかげで、鶴瓶師匠が「談春」という名前を知ってくださっていた。当時の知名度で鶴瓶師匠に認識してもらうなんて、おそらくあり得ないことです。

―― 鶴瓶さんの落語を初めて聴いた時は、衝撃を受けたそうですね。

はい。2002年、(春風亭)小朝師匠の誘いを受ける形で鶴瓶師匠が『子は鎹』という人情噺をやりました。鶴瓶師匠は常日頃から「俺は落語ができへん」と言っていたので、生意気ですけど、「どれほどできないのか」と思って見に行ったんです。ところがとても素晴らしかった。「この人はこれだけ落語ができて、それでも『できない』と言うんだ。これでできないと言うなら、俺はもう生きていく術がない」と思ったんです。その後、小朝師匠が「六人の会」を作られ、その第1回で僕が前座を務めました。それがうまい具合にはまって、そこから始まるんです。それで(落語で)食べられるようになった。そのきっかけが、鶴瓶師匠の『子は鎹』です。

―― 2008年には、フェスティバルホールで初めて独演会を開きました。

フェスティバルホールの地下にはリサイタルホールがあり、米朝師匠をはじめ、皆さんがそこで落語会をやっていました。でも、上のフェスティバルホールではやらなかった。それは、3階の最後列まで、落語を落語として届けることができないからです。落語にとってベストは300人、上限は500人。2700人のフェスティバルホールでやろうと言った時は、全員に止められました。会ったこともない人まで親切に止めてくれました。

―― なぜ無謀だったのでしょうか。

これは芸人の力量の問題ではないんです。お金を取って聴かせられるような機材がなかった。技術はあっても、機材がよくなかったんです。それでも「やれ」と言ってくれた人が二人いて、その一人が鶴瓶師匠でした。そして、3階の最後列のチケットを買って聴いてくれた人が、終演後に僕を抱き締めて、「君はすごいことをした。落語が落語として伝わった」と言ってくれたんです。本当に喜んでくれて、やってよかったと思いました。新しくなった時には、フェスティバルホールからご指名をいただき、(立川)志の輔兄さんと「落語のこけら落とし」を務めました。2008年の独演会以来、フェスティバルホールで落語をすることが僕の中でライフワークになりました。

―― さださんはどのような存在でしょうか。

分かりやすく言えば兄貴分でしょうか。でも、兄貴分以上の影響と憧れを持っています。僕が有名になったり、売れたりするわけがない頃から、35年以上の付き合いです。(立川)志らくに真打昇進で先を越された頃、さださんに一度だけしっかり叱咤激励されたことがあります。あれがなかったら、中途半端にいじいじしていたと思います。さださんには、僕の40周年でも一緒にやっていただきました。今回はグレープとして来ていただきます。アコースティックギター2本で演奏される姿が、かっこいいんですよね。

―― 還暦を冠した公演を開くことには、どんな思いがありますか。

還暦で会をやるというのは、落語家としては下品なことなんです。落語家にとって還暦は、アーティストと違って、やっとスタートラインに来たという年齢ですから。以前、さださんが還暦のコンサートをさいたまスーパーアリーナで開いた時、僕は総合司会を務めました。ゲストの皆さんと一曲ずつデュエットする企画で、それを一切宣伝していなかった。お客さんは全員、いつものさださんのコンサートだと思って来ているんです。ところが、ふたを開けてみると、すごいゲストが次々と出てくる。3時間半の予定が、5時間半経っても終わらなかった。大失態です。なので、いつか自分が還暦になったら、仕返しをしてやろうと思っていました(笑)。

―― 今回の演目は『居残り佐平次』です。

40周年の時に『芝浜』をやらせていただいたので、今回は『居残り佐平次』という暗い噺をやろうと思っています。難しいし、お客様を選ぶ噺です。これまで『玉響』を3回やってきましたし、僕も還暦です。そろそろ腹をくくらなきゃいけない。「俺が一番すごかった」と言わないと、ずっと憧れて甘えているだけですよね。やっと、そういう気持ちが出てきました。大阪のお客様の前で、フェスティバルホールで『居残り佐平次』をやり、グレープと鶴瓶師匠をお招きして、何ができるのか。僕自身も期待しています。それだけではなく、ちゃんと伍さないといけない。もう甘えちゃ駄目だと思っています。

◎Interview & Text／岩本和子
◎Photo／田村和成

12/27 SUNDAY【チケット発売中】
第4回『玉響』還暦記念公演
■会場／フェスティバルホール
■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 ¥12,000
■お問合わ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888
(12:00～17:00 土・日曜、祝日休み)



ゲストに笑福亭鶴瓶、グレープを迎えて贈る
立川談春の還暦記念公演

シティポップ CITY POP

世代を越え、海を越えて。いまも人を惹きつける、その魅力

◎監修／吉本秀純

尾崎亜美
Amii Ozaki

SPECIAL ARTICLE

今回のアルバムの曲は、忖度なしに自分のために思うままに書きました

傑出したシンガーソングライターとして数多くの名曲を世に送り出し、今年はデビュー50周年の大きな節目を迎えた尾崎亜美。11月7日（土）にはすばるホールでの大阪公演を控える彼女が、全曲書き下ろしによる5年ぶりのニューアルバム『amiism』について作品に込められた想いを語っています。



―― 9月23日には5年ぶりのアルバム『amiism』がリリースされ、2023年には声帯の手術をされるなど様々な出来事がありました。近年の活動における歌/曲作りへの向き合い方や心境の変化などについて次のようにコメントしています。

数年来、母の死や声帯の手術などで思うように曲を作れない日々が続いていましたが、喉も少しずつ回復してきて昨年後半から曲作りに弾みがつきました。今回のアルバムは、全曲書き下ろしにしたいと強く思って臨みました。忖度なしに自分のために思うままに書きました。ある意味"我儘"に。大変ではありましたが、ようやく自分の本来の場所に帰れたという思いが大きくて"大変さ"さえも愛おしい時間でした。この『amiism』にはいろんな色の自分がいます。どうかあなたの心に寄り添える色（曲）を見つけてくださいますように。

―― 公私にわたるパートナーであるベース奏者の小原礼さんを中心としたシンプルなバンド編成でほとんどの曲が録音され、曲によっては鈴木茂（g）と林立夫（ds）が参加してほぼティン・パン・アレイ状態になっていることもあり、ひと回りしてデビュー作『Shady』（76年）に近いような原点回帰的な印象すらあります。今回のアルバムへの思いを次のように語っています。

わたしの声で終わる曲が多いせいか"音楽の手紙"みたいになっている気がします。相変わらず欲張りなのでバラエティーに富んだ10曲になっていると自負しています。

―― 新しいアルバムにおいてソングライティング面でこだわっていたことや、出来上がってみて特に印象深かった曲について、いくつかコメントしています。

アルバムの3曲目に収録された「オムライス ～me inside me～」という曲は、悩み多き時期に音や詞を心の中にスケッチしておいた世界を曲にしました。食べ物関連の曲が多いわたしですが、この曲はタイトルにドーンと料理名を出してみました。音楽的には少し懐かしい時代を感じていただけるかな。小原礼のベースがすごくいい。そして、6曲目の「One World」という曲は、もともと友人のために書いた曲なのですが、すべての人に訪れるかもしれない秒刻みで削り取られるような時間に寄り添えるような、包み込めるような、そんな柔らかな曲にしたいと思って作りました。

デビュー50周年を迎えた今年は、ちょうどキャリアの前半（20世紀）と後半（21世紀）をまとめた2枚のベスト・アルバムも発売された。50周記念ツアーの一環として行われる11月7日（土）のすばるホールでの大阪公演は、小原礼（b）と是永功一（g）とのトリオ編成での登場。「マイ・ピュア・レディ」を筆頭とする新旧の代表曲から、シティ・ポップの名曲として世代を超えて親しまれてきた「オリビアを聴きながら」「天使のウィンク」といった提供曲の数々、そして最新アルバム『amiism』の収録曲といった多彩なレパートリーから選り抜かれた貴重なセットをお見逃しなく！

◎Text／吉本秀純

11/7 SATURDAY【チケット発売中】
「尾崎亜美 50th Amii-versary Concert Tour 2026」
■会場／すばるホール ■開演／17:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥8,500
■お問合せ／すばるホール TEL.0721-25-0222（9:00～17:30）

鈴木茂
Shigeru Suzuki

SPECIAL INTERVIEW

今はお客さんの年齢層が誰よりも幅広いというのを目指しています

はっぴいえんど在籍時から日本の音楽シーンの先端で活躍し、世界的に再評価が高まるシティ・ポップの名曲の数々でもギタリストを務めてきた鈴木茂。11月22日（日）にはビルボードライブ大阪で76年に発表した心地よい名作『LAGOON』50周年記念ライブを行う彼に、アルバム制作時の背景や近年の動きについて語ってもらいました。

―― 昨年に行われた初ソロ作にして代表作『BAND WAGON』の50周年記念ライブに続き、今年は翌年リリースされた『LAGOON』に取り組むわけですが。

去年ビルボードでやらせてもらった時に"じゃあ来年は『LAGOON』をやりたいね"みたいな話が持ち上がって、今回に至りました。でも、『BAND WAGON』と『LAGOON』ではサウンドが全然変わっていて、当時も裏切られたとかいろんなことも言われたけど（笑）、あの頃は世の中的にもゆったりとした音楽が好まれるようになっていた時期で、僕もブルーノートとかのジャズをよく聴いていたんですよ。その中にモアシル・サントスというブラジルのサックス奏者の『Saudade』（74年）という作品があって、そこでピアノを弾いていたマーク・レヴィンがとても気に入って、この人と次のアルバムを作りたいと思った。それでハワイで録音したのが『LAGOON』でした。

―― 確かに全体的にブラジリアン・フュージョン色が強くトロピカルな音作りで、ロック色が前面に出た『BAND WAGON』とはまた違いますが、今また新鮮に響く楽曲が多いと思います。

発売からちょうど50年経ってまた昔の音楽ができるのは素晴らしいと思うし、僕が作ってきた音って、もちろん埋もれちゃう部分もあるかもしれないけど、今の子でも理解してもらえるところがあるのかなと。最近、親子3代でライブに来てくれるお客さんがいるんですよ。なので、僕の一番若いお客さんは6歳の女の子で、そのお姉ちゃんは10歳（笑）。だから、今はお客さんの年齢層が誰よりも幅広いというのを目指していています。

―― 近年は海外の若い聴き手たちも過去に鈴木さんが録音に参加してきた音源に夢中ですが、世界的なシティ・ポップ再評価の動きについて思うところは？



2～30年くらい前の東南アジアでも、安全地帯「ワインレッドの心」とかちょっとマイナー調で哀愁がある系統の曲が好まれていた感じがあったけど、今回はもっとカラッとした音楽も注目されていろんなバリエーションで好まれているから、以前の印象とちょっと違うなと僕は感じていますね。あと、海外のリスナーにはアニメが大きく影響していて、そこから入ってさらにディープな音楽まで行きたい人が、いわゆるシティ・ポップとかまで来ている感じがしますよ。

―― 現在の鈴木さんの感覚で奏でられる『LAGOON』を楽しみにしています！

今回のライブは、できる限り『LAGOON』の曲を多くやって、それ以外にも後にロンドンで録音した『星導夜』（85年）の曲や、僕の定番の「砂の女」や「微熱少年」、それと生まれて初めて作っているクリスマス・ソングがあるんですけど、それを何とか仕上げてお披露目したいなと一生懸命やっています。最近作る曲は、以前の感じとちょっと違ってきてるんですけど、今の自分が作るとこうなるというのもわかってほしいし、常に何か新しいことに挑戦したいという気持ちがとても強い。だから、こっちとしては自分が一番いいと思えるモノにして出すという感じかな。それが一番いいような気がしています。

◎Interview&Text／吉本秀純

11/22 SUNDAY【チケット発売中】
鈴木茂「LAGOON」発売50周年記念ライブ
■会場／ビルボードライブ大阪 ■開演／[1st Stage]16:00 [2nd Stage]19:00
■料金（税込）／BOXシート¥19,700 S指定席¥9,300 R指定席¥8,200 カジュアル¥7,700
■お問合せ／ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722 ※飲食代別途

八神純子
Junko Yagami

SPECIAL INTERVIEW

欧米の若者に支持されるのは、不思議な気持ちもしながら、とても感慨深い

8月にはロンドンでも野外音楽フェスに出演し、日本のシティ・ポップに傾倒する若者たちを熱狂させた八神純子。国内外で精力的なライブ活動を続ける彼女に、近年の動きや12/12に箕面で開催されるピアニスト・塩谷哲とのデュオ公演について語ってもらいました。

―― 最近の八神さんの活動は、全国各地で開く"キミの街へ。ツアーやビルボードライブでのThe Night Flight、毎年1回のヤガ祭りに加え、オーケストラとの共演もありました。2011年に音楽活動を再開されてから、どのような思いで活動をされているのでしょうか？

私は11年からの日々を"第二の音楽人生。と呼んでいます。"やりたいようにやるわよ。をモットーに、ひたすら挑戦を続けている感じですね。私の声を生では聞いたことがない人に歌を届けたいと始めたのが"キミの街へ。です。小さな300人ぐらいの会館から数千人が入るホールまで、すでに350公演を超えました。自分がやりたい音楽やステージを作り出したいと思い、いろいろなリスクを背負うことを覚悟して、ヤガ祭りなども自ら主催者になって行っています。

―― 8月には高中正義や菊地ひみこととともにロンドンのクリスタル・ボウル・パレスで開催された野外音楽フェス"City Pop Waves"に出演され、大きな話題を集めました。

20～30代の若者が、心から楽しんでいる姿に驚くとともに感動しましたね。民族や宗教、経済的な問題など、分断が進む世界にあって、いろんな人が言葉やさまざまな壁を乗り越えて一つになれる、という音楽の力を感じた時間でもありました。

―― 近年の日本のシティ・ポップに対する世界的な再評価の高まりをどのように思っておられますか？また、ロンドンでは最近リリースされた11分を超える大曲「TERRA -here we will stay」も歌ったとのことですが、反応はいかがでしたか？

私たちは70～80年代、とてもかっこよく洗練された欧米の音楽のエッセンスをいかに自分たちの音楽に折り込んでいくかに一生懸命でした。それが今度は私たちの音楽が若者に支持されている。不思議な気持ちもしながら、自分たちがやってきたことが間違っていなかったんだと思うことができ、とても感慨深いです。「TERRA」は地球の誕生から消滅までを描きつつ、今、世界で起きている諸問題に警鐘を鳴らすような内容なので、受け入れてもらえるか不安だったのですが、来て下さった方々は聞いたこともないはずなのに2番からはサビのフレーズで大きく手を振ったり、一緒に大きな声で歌ったりしてくれました。私が込めたメッセージが理解され、共有してもらえたという充実感に包まれました。

―― 今回の12月12日（土）の東京建物 Brillia Hall箕面での公演は、10年以上前から何回も共演を重ねてきたピアニストの塩谷哲さんとのデュオとなります。

私がソルトと呼ぶ塩谷さんのピアノは、いつ聞いてもワクワク感を呼び起こし、自然と歌いたくなってしまうような魔法のピアノです。ソルトのピアノには風景があるので、同じ曲を演奏してもらっても、毎回違う空気感と匂いがあり、私の歌がどんどん進化していくんです。また、今回はゲストとして大阪交響楽団の首席ソロコンサートマスターである森下幸路さんがヴァイオリンで加わってくださいます。スペシャルな歌をお届けできるのではないか、と今から私自身も楽しみにしています。

◎Interview&Text／吉本秀純



12/12 SATURDAY【チケット発売中】
「八神純子 Live 2026 with 塩谷哲 ～キミの街へ チョコっとライブ～
■会場／東京建物 Brillia HALL 箕面 大ホール
■開演／16:00 ■料金（税込）／全席指定 ¥8,000
■お問合せ／東京建物 Brillia HALL 箕面[箕面市立文化芸能劇場] TEL.072-726-3000（9:00～17:00 不定休）

What is CITY POP?

最近よく聞くシティポップってなに？

1970～80年代の日本で生まれ、都会的で洗練されたサウンドを特徴とするシティポップ。AORやソウル、ファンクなど、海外の音楽から影響を受けながら、日本独自の感性で育まれてきました。軽やかなリズム、心地よいメロディ、都会の風景や恋愛を描いた歌詞。その魅力は、当時を知る世代だけでなく、若い世代にも広がっています。近年は海外のリスナーからも注目を集め、インターネットを通じて国境を越えた人気に。時代を超えて新鮮に響くサウンドは、今も多くのアーティストやリスナーを魅了し続けています。懐かしいだけではない。時代とともに新たな魅力を放ち続ける音楽、それがシティポップです。

なぜ今、シティポップは海外で人気？

シティポップが今、世界中のリスナーを魅了しています。そのきっかけのひとつが、インターネットでした。YouTubeの投稿やアニメでの楽曲起用、さらに現代のトップクリエイターたちがサンプリングするなど、海外の音楽ファンの間で話題になりました。インターネットの拡散する機能を通じて多くの人に広がり、人気を後押ししました。洗練された都会的なサウンドや、心地よいリズムは、言葉の壁を越えて楽しめる魅力のひとつ。さらに、当時の日本の街並みやファッションを思わせるレトロな雰囲気も、海外の若い世代の関心を集めました。かつて日本で親しまれた音楽が、時代と国境を越え、新たなリスナーとの出会いによって再評価されています。

Recommended Concert

12/21 MONDAY【時間】1st17:30／2nd20:30 【会場】ビルボードライブ大阪
「南 佳孝＆杉山清貴 Half＆Half X'mas Premium Live 2026」
■料金（税込）／BOXシート¥34,300（ペア販売） SV16,600 R指定¥15,500 カジュアル¥10,500（1ドリンク付）
■お問合せ／ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722 ※飲食代別途
※サービスエリア料金には、クリスマスプレート＆スパークリングワイン（グラス）が含まれます
※カジュアルエリアをご利用のお客様は、スパークリングワイン（グラス）もしくは1ドリンクをお選びいただけます



シティ・ポップスの名手である南佳孝と杉山清貴による恒例のジョイント・ライブ。3年目となったクリスマス・シーズンの開催である今回も、円熟のパフォーマンスを通してそれぞれの魅力、そして2人の歌声が交わることで生まれる新たな魅力を感じられる文字通りプレミアムなライブ。冬の街にアーバン・メロウな名曲の数々が響き渡る、珠玉のステージをお楽しみに。

11/2 MONDAY【時間】1st16:30／2nd19:15 【会場】ビルボードライブ大阪
「寺尾 聰 BBL COVER LIVE IN ♡♥」
■料金（税込）／BOXシート¥44,000（ペア販売） SV20,000 R指定¥20,000 カジュアル¥20,000（1ドリンク付）
■お問合せ／ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722 ※飲食代別途



日本映画界を代表する俳優であり、シンガーソングライターとしても第一線で活躍を続ける寺尾聰。好評のカバー・ライブでは洋楽のヒット曲から今も歌い継がれる珠玉の名曲の数々を、スタイリッシュなサウンドとともに披露。親密なクラブ空間に響く唯一無二のスモーキーな歌声と、円熟味を増したパフォーマンスが織りなす極上のひとときをお見逃しなく。

シティポップ6つの特徴

その1 洗練されたコード進行

7thや9thといったジャズやボサノヴァで使われるテンション・コードを多用することで、スタイリッシュで浮遊感がある響きの獲得や凝ったメロディ展開をみせることが可能に。

その2 ファンク・ソウル・AORなど、海外音楽からの影響

あらゆるジャンルにおいてより洗練されたグルーヴが追求された70年代。そうした洋楽の最新トレンドをいち早く取り入れ、独自消化してきたのが日本のシティ・ポップでした。

その3 ギター、ベース、ドラム、キーボードのグルーヴ

デジタルな音作りが主流となった現在とは異なる、温かみのある生演奏が心地よい。シンセやドラム・マシンにも今となっては貴重なアナログ機材が使われているのも魅力です。

その4 スタジオミュージシャンの存在

先進的なロック・バンドやジャズ／フュージョン出身の優れたプレイヤーたちがバッキングを担当。鈴木茂や細野晴臣が在籍した凄腕集団のティン・パン・アレイはその代表格。

その5 都会的な歌詞やサウンド

真夜中のドライブや海辺のリゾートなど、都会の喧騒から抜け出すようなシチュエーションの歌詞が多かったのも特徴的。ライトな非日常感を洗練されたサウンドと言葉で表現。

その6 レコード・ジャケットの世界観

ジャケットには、永井博、鈴木英人、わたせせいぞうといった80年代の日本を席巻した人気イラストレーターたちを起用。シティ・ポップの世界観を巧みにヴィジュアル化した。

読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/

舞台『二階堂朝陽は助けに来る』

11/7 SATURDAY ～9 MONDAY

チケット発売中

◎出演／千葉雄大、戸塚純貴、牧島 輝、坂元愛登、篠原悠伸、日高由起刀、大水洋介（パーパーガール）、皆川猿時 ◎作・演出／細川 徹

“主人公らしい名前”を持つ普通の男・二階堂朝陽。ウォーターサーバー業界シェア2位の会社エブリウォーターの営業として働く彼は、どんな人でも、時にはどんな動物でさえも自分の人生をかけて助けようとする。助けることに根拠はない。ただひたすらに助ける男。それが二階堂朝陽だ。後先を顧みず手を差し伸べるため失敗も多く、その行いを自ら語ることもないため、社内での評価は低く、出世とも縁遠い存在だ。そんな一直線で無謀な二階堂の背中に触れ、まわりの人々が少しずつ変化していく――。力強く迷いのない人助けの軌跡を描く物語。



■会場／COOL JAPAN PARK OSAKA WWホール ■開演／11月7日(土)13:00、18:00　11月8日(日)・9日(月)13:00
■料金（税込）／全席指定¥11,800 ヤング券（22歳以下）¥5,500 ■チケット取扱い／下記①②③⑩
■Pコード／543-042 ■Lコード／53263 ■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休み)
※未就学児入場不可 ※ヤング券は①のみ取扱い

リアル脱出ゲーム×名探偵コナン「疾風の追走（ハイウェイ）からの脱出」

10/24 SATURDAY ～12/13 SUNDAY

チケット発売中

横浜で自動運転バスの試乗会に参加したコナン、蘭、世良。しかし突如、蘭を1人乗せたままバスが暴走を始める！コースを外れたバスを追うコナンと世良。そして神奈川県警交通機動隊の萩原千速も白バイで追走する。車内には…時限爆弾が仕掛けられている！犯人を捜査する横溝重悟。そして、指令センターに残された最新鋭のシステムを駆使するあなた。指令センターから横浜の街にいるコナン達と協力し、絶体絶命の危機から蘭を救い出せ！



■会場／読売テレビ 10hall ■時間／詳しくは公式HPをご確認ください
■料金（税込）／［前売］一般チケット¥3,700 グループチケット（1～6人）¥20,400 ■チケット取扱い／下記④⑦
■お問合せ／株式会社SCRAP TEL.03-5341-4570(10:00～19:00)
※グループチケットは1～6人までのお好きな人数でテーブルを貸切ってイベントに参加できるチケットです

細田守の原点/展

10/28 WEDNESDAY ～'27 1/4 MONDAY

チケット発売中

東京会場では25万人を動員した話題の展覧会がいよいよ大阪で開幕します！今なお多くのファンを生み続けている『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』を中心に、絵コンテ、レイアウト、原画、背景美術などの制作資料を過去最大規模で展示します。細田守監督の原点ともいえる作品群を新たな視点から発見し、あの夏の感動をもう一度体験できるような展覧会です。さらに『時をかける少女』より前の演出家時代の作品や、学生時代の自主アニメーション作品や実写映像作品、金沢美術工芸大学時代の油絵、そして生まれ故郷・富山での原体験にまで遡り、当時の作品や制作資料を通して細田守監督のクリエイティブの原点を紐解きます。



■会場／グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
■時間／10:00～18:00（最終入場17:30）※12月31日(木)、1月1日(金)休館
■料金（税込）／一般・大学生¥2,300（前売¥2,100）
中高生¥1,300（前売¥1,100） 小学生¥700（前売¥500）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑨ ■Pコード／687-528 ■Lコード／54268
■お問合せ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休み)
※未就学児入場無料（要18歳以上の保護者同伴）
※障害者手帳をお持ちの方もチケット必要、同伴者1名様まで無料

ミュージカル『RENT』

12/11 FRIDAY ～14 MONDAY

チケット発売中

―No day but today―“過去もない、未来もない。今日という日を精一杯生きる”1996年の初演以来、ブロードウェイで12年4ヶ月のロングラン、さらに世界40ヶ国以上で各国語版の上演、そして、2006年には映画化もされ、日本のみならず、世界中で愛され続ける作品です！2008年に初演の幕を開け、2012年にはオリジナル版を手掛けたマイケル・グライフによる新演出版を上演し、RENTファンの熱烈な支持を受けました。以降も度々再演を重ね、今回は満を持しての8回目の上演となります。



■出演／鈴木 福、木原瑠生/RIKU（THE RAMPAGE）〈Wキャスト〉、Beverly／遥海〈Wキャスト〉、石井一彰/加藤潤一〈Wキャスト〉、坂口涼太郎/斎橋 嶺（WATWING）〈Wキャスト〉、KIMIKA/住田愛子（OVAL SISTEM）〈Wキャスト〉、宮本美季/塚本 直〈Wキャスト〉、秋沢健太朗、COLINA、Miai、小熊 綺、田村凌大、吉岡悠歩、KATSUHIRO（5IN）

■会場／SkyシアターMBS ■開演／12月11日(金)13:00　12月12日(土)12:00、17:00　12月13日(日)・14日(月)12:00
■料金（税込）／全席指定 S¥14,000 A¥11,500 ■チケット取扱い／下記①②③⑩⑬
■Pコード／543-021 ■Lコード／52049 ■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休み)
※未就学児入場不可 ※車いす席をご利用の方は事前にお問合せください

ミュージカル『101ダルメシアンズ』

11/7 SATURDAY ～15 SUNDAY

チケット発売中

◎出演／新妻聖子・蘭寿とむ（Wキャスト）、村井良大、土井ケイト、鈴木勝吾、川添野愛、島田惇平、永田崇人、高橋 愛 ほか

101匹のワンちゃんたちが大冒険！ステージをワンちゃんたちが駆け巡る、家族みんなで楽しめる感動ミュージカル。
世紀の悪女・クルエラにさらわれた子犬たちを取り戻すため、仲間たちが力を合わせて大奮闘する。華麗なバペットワークと心温まる楽曲、そしてワンちゃんたちのにぎやかな大騒動に、笑って泣けること間違いなし。子どもから大人まで楽しめる注目のミュージカル！

◎紙面限定特別価格
TEL.050-3092-0051（平日10:00～17:00）
［平日］S¥14,000▶¥12,000 ［土日］S¥15,000▶¥13,000
■受付期間／10月29日(木)23:00まで ■受付公演／S席のみ（S席1階20列目以降のみ受付）



■会場／梅田芸術劇場メインホール
■開演／11月7日(土)・14日(土)12:00、17:00　11月8日(日)・15日(日)12:00
11月10日(火)・11日(水)・12日(木)・13日(金)13:30　※11月9日(月)休演
■料金（税込）／全席指定［平日］S¥14,000 A¥10,000 B¥5,500
［土日］S¥15,000 A¥11,000 B¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③⑧　※3歳以下入場不可

クリスマス・オルガン コンサート

12/19 SATURDAY

チケット発売中

◎出演／山口綾規（パイプオルガン）、コロン えりか（ソプラノ） ◎曲目／トッカータとフーガ ニ短調、アヴェ・マリア、「スター・ウォーズ」よりメインタイトル、ミュージカル「マイ・フェア・レディ」、タイム・トゥ・セイ・グッバイ ほか

～クリスマスにお洒落な音楽のプレゼント～
クリスマス気分を彩る、恒例のオルガンコンサート。1990年に始まり、今年で37回目を迎えます。バッハやシューベルトの名曲に加え、「スター・ウォーズ」「マイ・フェア・レディ」などミュージカルや映画音楽の人気ナンバーを、壮麗なパイプオルガンとソプラノの美声でお贈りします。山口さん、コロンさんの笑顔あふれるトークも魅力。ホリデーシーズンのひとときを、いずみホールで心温まるクリスマスをお楽しみください。



■会場／住友生命いずみホール ■開演／12:00、16:00
■料金（税込）／全席指定 ¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③⑩⑫
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休み）
※未就学児入場不可

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤーコンサート2027

'27 1/10 SUNDAY

チケット発売中

◎出演／ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団、ヨハネス・ヴィルトナー（指揮） ◎曲目／ヨハン・シュトラウス2世「ウィーン気質」「美しく青きドナウ」、ヨーゼフ・シュトラウス「うわごと」「鍛冶屋のポルカ」 ほか

夢見心地のメロディと思わず体が動き出すリズム。ウィーン・フィル出身のヨハネス・ヴィルトナーが率いるは、ウィーンの一流オケで活躍する精鋭たち。“ワルツ王”ヨハン・シュトラウス2世が自ら考案した第一ヴァイオリンの多い独特の編成で、本場ならではの華麗な響きをお届けします。プログラムは、オーストリアの“第二の国歌”とも称される「美しく青きドナウ」のほか、ヨーゼフ・シュトラウス生誕200年を記念した名曲の数々。マエストロの弾き振りやユーモアあふれるトークも見どころです。心華やぐ新年を、本場オーストリアの響きとともに祝いましょう。



■会場／フェスティバルホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 S¥9,500 A¥7,500
S¥11,500 BOX席¥12,500
■チケット取扱い／下記①②③⑩⑬
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(12:00～17:00 土日祝休み)　※未就学児入場不可
※文化庁［子供舞台鑑賞体験支援事業］対象:小学生から18歳までのお子様は無料でご覧いただけます［要申込・12月25日（金）締切］

非破壊検査ニューイヤーコンサート2027 ローマ 春のアルモニア

'27 1/8 FRIDAY

10/29(木)～チケット発売

◎出演／モレーナ・サンチェス・マストランジェロ（ソプラノ）、宮里直樹（テノール）、今井俊輔（バリトン）、アヴォス・アンサンブル（ピアトリオ） ◎曲目／ヴェルディ「椿姫」より “乾杯の歌”、ドニゼッティ「愛の妙薬」より “人知れぬ涙”、ピアソラ “アディオス アイレスのマリア” ほか

ワインの飲める迎春コンサートで、
新年を彩る至福のひとときを
ヴェルディ、ドニゼッティ、ビゼー…。ローマから届く美しい歌声とともに、華麗なオペラの世界へご案内します。「乾杯の歌」「人知れぬ涙」など、愛され続ける名曲の数々に加え、情熱あふれるピアソラ作品も披露。実力派ソリストたちの卓越した歌唱と息の合ったアンサンブルが、ザ・フェニックスホールを華やかに彩ります。美しい歌声とおいしいワインに酔いしれる、年に一度の特別なニューイヤーコンサートです。



■会場／あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 S¥10,000 A¥7,000 ■チケット取扱い／下記③④
■お問合せ／KCMチケットサービス TEL.0570-00-8255 ※未就学児入場不可 ※S席は⑭のみ取扱い

チケット取扱い
①チケットぴあ https://t.pia.jp ②ローソンチケット https://l-tike.com ③イープラス https://eplus.jp ④セブンチケット https://7ticket.jp/ ⑤楽天チケット https://r.tj/ ⑥アンビュー! https://www.asoview.com ⑦スクラップチケット https://scrapticket.jp/auth/login
⑧梅田芸術劇場 https://ko-ume.pia.jp/ チケットカウンター（10:00～18:00） ⑨KKday https://www.kkday.com/ja ⑩CNプレイガイド［オールジャンル］☎0570-08-9999 ［クラシック］☎0570-08-9990 https://www.cnplayguide.com/ ⑪Skyシアター MBS［ミルテ］ https://eplus.jp/milude/
⑫住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188（10:30～17:00 日・祝日休業） https://www.izumihall.jp/ticket/ ⑬フェスティバルホール チケットセンター ☎06-6231-2221（10:00～18:00） https://www.festivalhall.jp［要事前登録］ ⑭ザ・フェニックスホール チケットセンター ☎06-6363-7999（10:00～17:00 土・日・祝日休業）

兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255 《チケット購入・お問合せ》 https://www.gcenter-hyogo.jp 《チケット購入OK》

兵庫芸術文化センター管弦楽団 2026-27シーズン 第174回定期演奏会 カーチュン・ウォン マーラー7番

12/11 FRIDAY ～13 SUNDAY

チケット発売中

◎指揮／カーチュン・ウォン ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／マーラー：交響曲 第7番

第2・第4楽章を「夜曲」と題することから“夜の歌”の名称で知られているマーラーの交響曲 第7番。マンドリンやギター、テノールホルンなど多彩な楽器と奏法が織りなす、聴くほどに発見が広がる作品です。個々の奏者の高度な技量と緻密なチームワークを、カーチュン・ウォンの確かなタクトで引き出します。



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／各日15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥5,000 B¥4,000 C¥2,500 D¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第40回名曲コンサート モーツァルト&メンデルスゾーン

12/19 SATURDAY

チケット発売中

◎指揮・ヴァイオリン／ライナー・ホーネック ◎ピアノ／菊池洋子 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／メンデルスゾーンピアノとヴァイオリンのための協奏曲 ほか



ウィーン・フィルのコンサートマスターとしても活躍するライナー・ホーネックが登場。メンデルスゾーンの交響曲第4番「イタリア」、モーツァルトのピアノ協奏曲 第21番、ホーネックの弾き振りによるメンデルスゾーンの協奏曲をお届けします。ウィーンで活躍する2人の名手と贈る優雅なひとときを。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール
■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,000 B¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

兵庫芸術文化センター管弦楽団 特別演奏会 下野竜也&三浦文彰 シリーズ

MANY DAYS

チケット発売中

◎出演／下野竜也（指揮）、三浦文彰（ヴァイオリン）、兵庫芸術文化センター管弦楽団（管弦楽）

下野竜也&三浦文彰とPACが贈る、世界各地の名曲をめぐる全4回公演。時代を超えて愛されてきた名曲の数々をお届けします。

Ⅰ. 北欧 ◎'27 2/20（土）
◎曲目／シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ほか

Ⅱ. スペイン・フランス ◎'27 3/27（土）
◎曲目／ラロ：スペイン交響曲、ラヴェル：ボレロ ほか

Ⅲ. ロシア・東欧 ◎'27 4/10（土）
◎曲目／ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ほか

Ⅳ. アメリカ・日本 ◎'27 5/22（土）
◎曲目／羽田健太郎：交響曲「宇宙戦艦ヤマト」（ピアノ：清水竜馬、ヴォカリーズ：鎧岐彩夏） ほか



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／A席4回通し券¥14,000 ※1回券（A¥4,000、B¥2,000）は11月発売 ■チケット取扱い／下記① ※未就学児入場不可

◎Hyogoクリスマス・ジャズ・フェスティバル ～トップ奏者が贈る、至高のジャズ

4TRP. Legends（フォー・トランペット・レジェンズ）

12/12 SATURDAY

チケット発売中

◎出演／エリック・ミヤシロ、ウェイン・バージェロン、アレン・ヴィッティ、ホセ・シバハ、川口千里、川村 竜、宮本貴奈 ほか

世界的トランペット奏者エリック・ミヤシロの呼びかけで、ジャズ、映画、クラシック等、各界で世界的に活躍するレジェンド級のトランペッター4人が集結した、唯一無二のスペシャルユニット。初心者からファンまで誰もが特別な時間を楽しめる圧巻のステージ。



■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定¥6,000 U-25（25歳以下）¥4,500
■チケット取扱い／下記①②③⑥ ※4歳以下入場不可

オールスター・ジャムセッション！

12/15 TUESDAY

チケット発売中

◎出演／綾 戸介、原 朋直、向井滋春、野力奏一、井上陽介、奥平真吾、類家心平、広瀬未来 ◎曲目／モーニン、チュニジアの夜、クリスマスソング ほか

日本ジャズ界を牽引するトップ奏者6名により結成されたユニット。超絶技巧と唯一無二の音楽性でクールなモダンジャズを奏でます。今宵は次世代を担う気鋭のトランペッター2人を迎え、巨匠たちとフレッシュなサ能が競演。



■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 ¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

小曽根 真 クリスマス・スペシャル "For Someone"

12/16 WEDNESDAY

チケット発売中

◎ピアノ／小曽根 真 ◎ベース／小川晋平 ◎ドラムス／きたいにと ◎ヴォーカル／アナ・マリア・ヨペック



小曽根真デビュー40周年を機に、若き才能たちとともに結成したトリオ“TRiNFiNiTY（トリンフィニティ）”での登場。ボーランド屈指の歌姫、アナ・マリア・ヨペックとともに、静かな情熱とあたたかな希望に満ちたひとときをお贈りします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 A¥6,000 B¥4,500 C3,000 D¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

プラハ交響楽団「新世界」

'27 1/9 SATURDAY

チケット発売中

◎指揮／トマーシュ・ネトピル ◎チェロ／北村 陽 ◎曲目／ベートーヴェン：「エグモント」序曲、ドヴォルザーク：チェロ協奏曲、交響曲 第9番「新世界より」



先ごろエリザベート国際コンクールに入賞を果たしたチェリスト北村陽。西宮市出身でスーパーキッズ・オーケストラから羽ばたいた若き才能が、チェコの名門楽団と共に凱旋！演奏するのはドヴォルザークの協奏曲。チェコ出身のネトピル率いるプラハ響の伝統の「新世界」も必聴！新年を寿ぐ華やかな時を。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥13,000 B¥11,000 C¥9,000 D¥7,000 E¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤー・コンサート2027【夜の部】

'27 1/6 WEDNESDAY

チケット発売中

◎出演／宮川彬良&アンサンブル・ベガ、宮川安利（うた・ゲスト） ◎曲目／宮川 彰：ウナセラディ東京、逢いたくて逢いたくて、「宇宙戦艦ヤマト」テーマ ほか



昭和のポップス界を彩った宮川泰の名曲を、息子の彬良が再編し、孫の安利が歌い継ぐ。前半は宮川彬良&安利による音楽バラエティショーとして、泰の昭和歌謡と彬良の平成歌謡が並びます。後半はアンサンブル・ベガとともに「宇宙戦艦ヤマト」などをお届けします。新年の始まりに、心も身体も弾むひとときをお過ごしください。（※昼の部は売切）

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
■開演／19:00 ■料金（税込）／全席指定 A¥5,500 B¥4,500
■チケット取扱い／下記① ※未就学児入場不可

ジェイデン・アイジク＝ズルコ ピアノ・リサイタル

'27 1/17 SUNDAY

チケット発売中

◎曲目／ショパン：前奏曲 第24番 ニ短調 op.45、スクリャービン：前奏曲 op.11より、フランク：前奏曲 コラールとフーガ、ラフマニノフ：10の前奏曲

2024年のリーズ、モントリオール両国際コンクールで優勝し注目を集める27歳のピアニスト。芸術文化センター初登場！前奏曲を集めたプログラム。特に後半のラフマニノフは、ロンドン・ウィグモアホールでも絶賛された彼の真価を堪能する、必聴の演奏。完璧なテクニックと表情豊かな音色。世界が目を見張るその才能、どうぞお聴き逃しなく。



■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 A¥4,500 B¥3,500
■チケット取扱い／下記① ※未就学児入場不可

◎プロムナード・コンサート ～気軽に聴く、一流の音楽

中村恵理（ソプラノ）お菓子と娘 バレンタイン・コンサート

'27 2/14 SUNDAY

チケット発売中

◎出演／中村恵理、木下志寿子 ◎曲目／橋本國彦：お菓子と娘、ジーツィンスキー：ウィーン わが夢の街、プッチーニ：ドンナ・ジョバンニ より「歌に生き、愛に生き」 ほか

素晴らしい声！英国ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場等、世界の名門歌劇場で活躍するソプラノ歌手が贈るバレンタイン。「宝石のように輝く美声」と称され、国際的な評価を得る歌姫が登場。春や恋を想起させる日本歌曲やシューベルト、珠玉のイタリア歌曲や名アリアなど“愛の歌声”をお届けします。



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
■開演／14:00 ■料金（税込）／全席指定 A¥3,000 B¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

上野耕平×山中惇史×石若 駿 トリオ

'27 3/13 SATURDAY

チケット発売中

◎出演／上野耕平、山中惇史、石若 駿 ◎曲目／山中惇史：SAKURA、藤倉大：プエノウエノ、山田耕筰／山中惇史：赤とんぼ、石若 駿：playgroundz ほか



次代の日本音楽界を牽引する俊英3人が集結。クラシックの域を超えて多方面で活躍するサクソフォニストの上野耕平、作・編曲家としても活躍するピアニストの山中惇史、そして当センター初登場となる天才打楽器奏者の石若駿。若きトップランナーたちによる特別なステージです。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／A¥3,000 B¥1,000 U-25（A席・25歳以下）¥1,500
■チケット取扱い／下記①②③④ ※未就学児入場不可

チケット取扱い ①兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255（10:00～17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日） https://www.gcenter-hyogo.jp
②チケットぴあ https://t.pia.jp ③ローソンチケット https://l-tike.com ④イープラス https://eplus.jp

ビルボードライブが主催するライブをご紹介！ Billboard Live presents





フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000 《お問合せ　https://www.fenice-sacay.jp/ 《チケット購入OK

'27 1/22 FRIDAY ～24 SUNDAY ミュージカル「ジャック・ザ・リッパー」

11/1（日）～チケット発売

◎作曲／バッソ・パテール ◎作詞／エデュアルド・クレツマル ◎脚本／イヴァン・ヘジャ ◎演出／白井 晃



5年の沈黙を破り、伝説の公演がいま、蘇る！

その動機は、狂気か、愛か。伝説の未解決事件、今冬再演決定！予測不能なジェットコースターのようなストーリーと、一度聴いたら忘れられない美しくも激情的な音楽。初演で日本中を熱狂させたあの興奮が、演出・白井晃の手によりさらなる進化を遂げて帰ってくる。緻密な解釈と繊細な表現で描かれる人間ドラマの深淵。2027年冬、再び「切り裂きジャック」の真実が、あなたの心を震わせる。



■出演／木村達成/平間壮一（ダニエル/Wキャスト）、加藤和樹/松下優也（アンダーソン/Wキャスト）、加藤和樹/堂珍嘉邦（ジャック/Wキャスト）、熊谷彩春（グロリア）、花乃まりあ（ポリー）、田代万里生（モンロー）

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／1月22日（金）13:30
1月23日（土）12:30、17:30
1月24日（日）12:30
■料金（税込）／全席指定 S¥15,500 A¥9,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
※未就学児入場不可

'27 2/6 SATURDAY 関西フィルハーモニー管弦楽団 堺特別公演

チケット発売中

◎出演／藤岡幸夫（指揮）、清塚信也（ピアノ）、関西フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）

日本を代表するマエストロ・藤岡幸夫が率いる、関西フィルハーモニー管弦楽団の堺特別公演。絶大な人気を誇るピアニスト・清塚信也とともに贈る、多彩な名曲で紡ぐ魅力あふれるひととき。藤岡×清塚の息の合ったトークもお楽しみに。





■曲目／清塚信也（編曲/帝劇）：アスタ・マニャーナ（ミュージカル『ゴヤ-GOYA-』より）、ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調、スッペ：喜歌劇『詩人と農夫』序曲、リムスキー＝コルサコフ：歌劇『雪娘』より"道化師の踊り"、マスネ：歌劇『タイス』瞑想曲、エルガー：行進曲『威風堂々』第1番

■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 S¥5,500（残席わずか） A¥4,800 B¥3,800 C¥3,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥ ■Pコード／336-032 ■Lコード／55991 ※未就学児入場不可

11/14 SATURDAY 東京混声合唱団 堺特別演奏会

チケット発売中

◎出演／沖澤のどか（指揮）、大阪交響楽団メンバー（弦楽五重奏）、中山機美子（オルガン）、大沢結衣（ソプラノ）、宮本益光（バリトン）、鈴木慎悟（ピアノ）

注目の指揮者 沖澤のどかと日本を代表するプロ合唱団が、世界3大レクイエムの中でもっとも美しいといわれるフォーレ作曲の鎮魂歌を、信長貴富の編曲による特別ヴァージョンで演奏します。第二部では「からたちの花」「この道」「あずさ2号」「異邦人」ほかおなじみの曲を、ナビゲーターのおしゃべりを交えながら。





文化庁

■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／328-096 ■Lコード／52365 ※未就学児入場不可

12/5 SATURDAY 渡辺貞夫 75周年 SADAO WATANABE with Strings "NOW'S THE TIME"

チケット発売中

デビュー75周年。日本の音楽シーンを牽引してきジャズ界のスーパーレジェンドが、極上のサウンドを堺へ。今回はラッセル・フェランテ（p）、ペン・ウィリアムス（b）、竹村一哲（ds）ら息の合った仲間に加え、押鐘貴之ストリングスが参加。レジェンドが魅せる円熟のステージを、お見逃しなく。



■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／16:00
■料金（税込）／全席指定 S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／334-680 ■Lコード／54635
※未就学児入場不可

'27 1/31 SUNDAY 凰凰亭落語シリーズ 桂春蝶 独演会

チケット発売中

心揺さぶる声色に迫真の表情、華のある高座でおなじみの桂春蝶。昨年に引き続き、フェニーチェ堺の鳳凰亭落語シリーズに登場！江戸落語の大ネタ「芝浜」を、春蝶ならではの味付けでたっぷりと披露します。独自の世界観でつづる、至高の語りをお楽しみに。



文化庁

■会場／フェニーチェ堺 小ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 ¥3,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／545-364 ■Lコード／52459
※未就学児入場不可

'27 1/17 SUNDAY 京都市交響楽団 堺特別公演

チケット発売中

常任指揮者・沖澤のどかと京都市交響楽団が、話題のピアニスト、ルーカス＆アルトゥール・ユッセン兄弟を迎えてお届けする特別公演。作曲家ストラヴィンスキーの代表作のひとつに数えられるバレエ音楽「火の鳥」（1910年全曲版）と、プーランク作曲「2台のピアノのための協奏曲 ニ短調 FP.61」を演奏します。





■会場／フェニーチェ堺 大ホール ■開演／16:00
■料金（税込）／全席指定 SV6,000 AV5,500 B¥4,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／332-607 ■Lコード／52559
※未就学児入場不可

チケット取扱い ①堺市文化振興財団チケットセンター ☎0570-08-0089 ②フェニーチェ堺公式HP https://www.fenice-sacay.jp/ ③フェニーチェ堺総合窓口（9:00～20:00 第1・3月曜日休館、祝日の場合は翌平日）
④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤ローソンチケット https://l-tike.com ⑥イープラス https://eplus.jp



公演に関するお問合せ ｜松山バレエ団公演事務局 ☎03-3408-7939（10:00～18:00） ［主催］公益財団法人 松山バレエ団 ［協力］フェスティバルホール ［支援］文化庁 令和8年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業（11/28・12/27） 文化庁

茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）

TEL.072-625-3055 《お問合せ　https://www.ibabun.jp 《チケット購入OK

'27 1/23 SATURDAY '27 1/24 SUNDAY マームとジプシー×公共ホール4館共同制作『under ground』

10/23（金）～チケット発売

◎作／藤田貴大 ◎演出／藤田貴大 ◎出演／伊野香織、内田健司、成田亜佑美、長谷川七虹

－わたしの片耳は、地下になにかを聞いた－

春から夏にかけて、豊橋、富山、鶴岡、茨木の地下を巡る旅をした。 徐々に浮かんだイメージがあった。数分間しか進まない時間は繰り返し繰り返されて、ある瞬間、ふいに消えて無くなる。そして現れる、ここに存在しないはずの時間の層。それらを、地下へと掘り下げていく。マームとジプシーが始まったころに描いた『ドコカ遠クノ、ソレヨリ向コウ 或いは、泡ニナル、風景』という作品も連想された。わたし、わたしたちは現在、どこへ向かっているのだろう。あっという間に季節は過ぎて、冬。旅してみよう。そう、あらためておもった。（藤田貴大）



■あらすじ／朝、いつものように地下鉄に乗りこむ4人は、もちろんそれぞれ出身地がちがう。 座席に座りながら、あるいは吊り革をつかみながら、なんとなく、ここではないどこかへ意識を向ける。夢、そして追憶の淡いのなか、自身の地元の、"地下"とつながる。"地下"に留まり、澱んでいたものの正体は？

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール
■開演／14:30 ■料金（税込）／全席指定¥4,500 25歳以下¥2,000
■チケット取扱い／下記①⑤ ■Lコード／56059

'27 2/6 SATURDAY 日本伝統奇術 和妻

11/6（金）～チケット発売

◎出演／藤山大樹 ◎演奏／杵家七三社中

江戸から続く
伝統奇術『和妻』と、
和楽器の生演奏が織りなす
幽玄の世界。

日本独自に発達したマジック「和妻」。西洋のマジックとは異なり、マジックに日本の文化が融合し、奇術的な不思議さの中に日本独自の美しさや世界観が凝縮された芸能で、国の無形文化財に選択されています。演じるのは伝統奇術・和妻の数少ない継承者、藤山大樹。日本マジック界歴代最年少で「芸術祭賞」を受賞し、2021年には日本奇術界で最も名誉ある「松旭斎天洋賞」を受賞。国内外で高い評価を集める藤山大樹が、杵家七三社中による邦楽の生演奏とともに、美と驚きが織りなす幽玄の世界へと誘います。



■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 ¥3,000 25歳以下¥1,000
■チケット取扱い／下記①⑤ ■Lコード／56060
※3歳未満入場不可

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

※滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは、2026年7月から2028年2月まで大規模改修工事のため、全館休館します。休館期間中は、県内外のホール等と連携して舞台芸術をお届けします。

TEL.077-523-7136 《チケット購入・お問合せ　https://www.biwako-hall.or.jp/ 《チケット購入OK

10/30 FRIDAY びわ湖ホールピアノコンクール 優勝者コンサート in ザ・シンフォニーホール

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督） ◎管弦楽／京都市交響楽団 ◎ピアノ／牧嶋慧大、辰野 翼、三原有紀、小塩真愛



全国より優れたピアニストを発掘し、発信することを目指す「びわ湖ホールピアノコンクール」。第1回優勝者をソリストに迎え、芸術監督 阪の指揮で4つのピアノ協奏曲をお届けします。

■曲目／J.S.バッハ：ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 BWV1052［牧嶋慧大／A部門（小学生以下）］、チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23［辰野 翼／C部門（一般）］、モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488［三原有紀／C部門（一般）］、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18［小塩真愛／C部門（一般）］

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／18:30
■料金（税込）／全席指定 一般¥2,200 青少年（24歳以下）¥1,100
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑧ ■Pコード／322-119
■Lコード／56471 ※6歳以上入場可

12/31 THURSDAY 守山市民ホール開館40周年記念公演 びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2026

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督） ◎ヴァイオリン／吉本梨乃 ◎バリトン／池内 響 ◎管弦楽／大阪交響楽団 ◎司会／桂 米團治 ほか



開館以来毎年開催しているジルヴェスター・コンサート。休館中の今回は守山市民ホールで開催します。阪哲朗指揮のもと、新進気鋭のヴァイオリニスト吉本梨乃、バリトンの池内響をソリストに迎え、大阪交響楽団の管弦楽、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声、一般から募った合唱団やファンファーレ隊とともに1年の締めくくりを祝います。オペレッタ「こうもり」序曲、メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」やベートーヴェン「第九」ほかを華やかにお贈りします。

■会場／守山市民ホール 大ホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥5,500
青少年（24歳以下）¥2,200 シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑨ ■Pコード／322-133
■Lコード／56639 ※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは②のみ取扱い

'27 1/23 SATURDAY '27 1/24 SUNDAY 守山市民ホール開館40周年記念公演 びわ湖ホール プロデュースオペラ Moriyama Edition モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』

全2幕（イタリア語上演・日本語字幕付）

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗 ◎演出／中村敬一 ◎管弦楽／京都市交響楽団 ◎出演／大西宇宙［23日（土）］、池内 響［24日（日）］、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか





滋賀県内でも屈指の音響を誇る守山市民ホールにて、びわ湖ホールプロデュースオペラを新制作で上演します。時代を超えて世界を魅了し続けるオペラ「ドン・ジョヴァンニ」。複雑な心理を映し出すアリアや重唱、緊密に構築された劇音楽はモーツァルトの天才を余すところなく示す傑作です。日本を代表するソリストと共にびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーをキャストに配し、芸術監督 阪哲朗がフォルテピアノ弾き振りで挑みます。

■会場／守山市民ホール 大ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 SV¥11,000 AV¥8,800
U30¥3,300 U24¥2,200 ※SS,S席・B席は取扱終了
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑨ ■Pコード／322-136
■Lコード／56650 ※6歳以上入場可 ※U30席・U24席は②のみ取扱い

'27 3/6 SATURDAY '27 3/7 SUNDAY 〈オペラへの招待〉 ニーノ・ロータ作曲『フィレンツェの麦わら帽子』

全4幕（イタリア語上演・日本語字幕付）

11/7（土）～チケット発売

◎指揮／園田隆一郎 ◎演出／中村敬一 ◎出演／びわ湖ホール声楽アンサンブル ◎管弦楽／日本センチュリー交響楽団





〈びわ湖ホールオペラへの招待〉シリーズはオペラ初心者の方にもオペラ通にも楽しんでいただけるシリーズ。イタリア映画音楽の大巨匠ニーノ・ロータが作曲したドタバタ喜劇『フィレンツェの麦わら帽子』を東京芸術文化会館さきら（滋賀県栗東市）にて上演します。美しくて楽しいメロディが全編を彩るイタリアオペラ。園田隆一郎を指揮に迎え、日本センチュリー交響楽団の演奏でお贈りします。

■会場／栗東芸術文化会館さきら 大ホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥6,050
青少年（24歳以下）¥2,200 シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑨ ■Pコード／322-139
■Lコード／56675 ※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは②のみ取扱い

神戸ポートピアホテル

TEL.078-302-1117 《チケット購入・お問合せ　https://www.portopia.co.jp/ 《チケット購入OK

'27 1/24 SUNDAY 西本智実&イルミナートフィル NEW YEAR CONCERT 2027

チケット発売中

◎出演／ 西本智実（指揮）、イルミナートフィルハーモニーオーケストラ（管弦楽）、中井美穂（司会）

心躍る華麗なる新年の祝宴へ―音楽と映像のファンタジー

欧米、南米、アジアなど世界各国を代表する名門オーケストラ、名門歌劇場、国際音楽祭から招聘され、芸術監督として舞台も制作、日本から世界へ向けて発信しつづけるマエストロ・西本智実。パチカン国際音楽祭でアジアのオーケストラとしては史上初めて招聘されたイルミナートフィルとともに、今年も、深い感動と興奮をニューイヤーコンサートでご堪能ください。



■曲目／エルガー：行進曲『威風堂々』、チャイコフスキー：バレエ音楽『眠れる森の美女』より～ベローの童話からのご案内は、赤ずきんちゃん、青い鳥、長靴をはいた猫、ダイヤモンド、金と銀！ほか

■会場／神戸ポートピアホテル ポートピアホール ■開演／14:00 ■料金（税込）／全席指定 SV9,000 AV8,000 BV6,500 スチューデントV2,000
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥⑦ ■Pコード／337-724 ■Lコード／51621
※未就学児入場不可 ※チケット発券には別途手数料が必要 ※ご入金後のキャンセル不可

'27 1/10 SUNDAY ポートピア 千客万来亭2027

チケット発売中

◎出演／霞の都、桂 吉弥、笑福亭由瓶、桂 天吾



神戸ポートピアホテル新春恒例の落語会「千客万来亭」は今回で12回目の開催です。今年は、お食事が「松花堂弁当」にリニューアル！ 落語界で活躍する噺家たちによる磨き抜かれた話芸と、季節の味わいを詰め込んだ特製松花堂弁当をお楽しみください。さらに初企画として、豪華賞品が当たる抽選会も開催します！ 新春初笑いをポートピアホテルでどうぞ！

■会場／神戸ポートピアホテル 南館B1F Iパーズ
■開演／13:30（落語会）
■料金（税込）／全席指定 SV11,000（ランチ付）
AV9,000（ランチ付） BV5,000（落語会のみ）
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥⑦
■Pコード／545-511 ■Lコード／56212
※未就学児入場不可 ※ご入金後のキャンセル不可
※チケット発券には別途手数料が必要

'27 1/3 SUNDAY 仮面ライダーマイス スペシャルショー&ブッフェ

チケット発売中

◎出演／仮面ライダーマイス

新春を彩る興奮のステージ！神戸ポートピアホテルで、特別な1年の始まりを、ヒーローと共にお楽しみください。さらに、射的やお楽しみくじなど縁日で使える利用券1,000円分付き！興奮のステージと美味しい料理、そしてお祭り気分の縁日まで、家族みんなの笑顔が弾ける忘れられない最高の思い出を作ろう！



■会場／神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田の間
■開演／10:00
■料金（税込）／大人（中学生以上）¥8,000 小人（4歳～小学生）¥7,000
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥⑦
■Pコード／662-291 ■Lコード／51630
※4歳以上はチケットが必要、3歳以下は1席につきお一人様膝上鑑賞可
ただしお座席が必要な場合はチケット必要
※チケット発券には別途手数料が必要 ※ご入金後のキャンセル不可

チケット取扱い ①茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 https://www.ibabun.jp/ ②びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136（10:00～17:00 火曜休） https://www.biwako-hall.or.jp/
③神戸ポートピアホテル イベント係 ☎078-302-1117（10:00～18:00） https://www.portopia.co.jp/ ④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤ローソンチケット https://l-tike.com ⑥イープラス https://eplus.jp ⑦セブンチケット https://7ticket.jp
⑧ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 https://www.symphonyhall.jp ⑨守山市民ホール ☎077-583-2532（9:00～17:00 火曜及び祝日の翌日は休） ⑩栗東芸術文化会館さきら ☎077-551-1414（10:00～21:00 休館日を除く）

〈あの万博の熱気が、もう一度!?〉

たくろう万博

in 万博記念公園 もみじ川芝生広場



TAKURO EXPO'26

2026 11.7(土)▶8(日)
開場09:30 開演11:00 (終演18:45)

M-1グランプリ2025チャンピオン"たくろう"が語った最初の夢

M-1グランプリで優勝を掴んだたくろう・赤木が、
「賞金1,000万円の使い道は」という質問に対して語った夢。それが『たくろう万博』です!
アインシュタイン・見取り図など人気芸人の漫才ステージや万博盆踊り、世界グルメも堪能いただけます。

たくろう スペシャル インタビュー

M-1王者・たくろうの夢が実現!
万博記念公園のスペシャルな二日間!

「M-1グランプリ2025」王者のたくろうが、11月7日(土)・8日(日)、大阪・万博記念公園で「たくろう万博」を開催します。漫才や音楽、盆踊り、バビリオン、グルメなどが一堂に会す「たくろう万博」。何げない一言から始まった企画の舞台裏と、二人ならではの注目ポイントを赤木裕ときむらバンドに聞きました。

――「たくろう万博」は、どのように始まったのですか。

赤木:「M-1グランプリ2025」の優勝後の会見で言ったんですよね。「賞金の使い道は?」みたいな質問があったので、万博をもう一回開催したい」と。

きむら:最初はボケの一つやったんです。「(大阪の)大国町でやりたい」みたいな。僕もそこにかぶせて、「じゃあ、大きいバウムクーヘンで大屋根リングを作ります!」とか言って。そんなことがきっかけですけど、吉村(洋文)大阪府知事がSNSで反応したことが一番大きかったでしょうね。

―― 大規模な催しが決まり、心境はいかがでしたか?

赤木:「やります」と聞いた時は、めっちゃうれしいんですけど、「何をするんだろう」と。1時間ぐらいのライブは自分らで企画してやることもありますけど、これほどでかい規模のものを作ったことがないですし、怖さもありましたね。

きむら:しかも「万博」の名前をお借りしていますしね。ただ、楽しみではありました。めっちゃ大きいことができそうやなって、ワクワクもありました。

―― 中でも、守谷日和さんの「表現の表現館」が、早い段階から決まっていたそうですね。

赤木:万博のハンガリー館で、シンガーの方が民謡を歌っていたのがすごく良くて。「あのニュアンスで何かできないか」と。

きむら:「たくろう万博」は、まず守谷日和さんだけ決まって、そこから広がっていった。

赤木:もう軸になっています。

きむら:軸ですね。守谷さんは1日3ステージ、お一人で30分。それが2日間あるので。とんでもないことです。

赤木:守谷さんは「表現力選手権」というライブで、歌詞に合わせて踊りのような表現をしているんです。それは見たことのない芸術というか、出し物で。劇場でもめちゃくちゃ大人気なんですよ。

きむら:寄席でもウケています。そのステージをバビリオンでやるという、こんなおもろいことはないです。

――グルメには赤木さん監修の「赤木そば」も登場します。

きむら:本当に赤木が毎日食べていたそばが発売されるのも、「たくろう万博」じゃないとありえない。僕らも試食しましたが、めちゃくちゃおいしいですよ。

赤木:具は豆腐とキムチとしめじを入れるだけ。健康のことを意識して、タンパク質と炭水化物と野菜とキノコを一気に食べたいと1点に絞って考えたメニューです。僕はめっちゃおいしいと思って食べています。

きむら:好きなものを全部入れてるんでね。

―― 音楽ステージも豪華ですね。

きむら:伝説のアイドル・くままや、歌を出している芸人さんに歌ってもらうんですけど、そこにガチのアーティストで、『ONE PIECE』の『ウィーアー!』を歌っているきただにひろしさんが出てくれる。おそらく『ウィーアー!』を歌っていただけると思うので、大盛り上がりになると思います。

◎Interview&Text／岩本和子

11/7(土) CAST

漫才



音楽



盆踊り



and more

バビリオン



11/8(日) CAST

漫才



音楽



and more

※都合により、選択にソートライブたかのりの出演はございません。
代演としてフースーヤ田中ショータイムが出演致します。

盆踊り



and more

バビリオン



★ステージ★



漫才万博

たくろうをはじめ、バッテリィズ、ミルクボーイ、ドンデコルテ、エバースら人気芸人が集結。二日間にわたって個性豊かな顔ぶれが珠玉の漫才で会場を沸かせます。



あの感動と興奮が再び蘇る! リバイバル万博

7日(土)は、音楽で万博の感動と興奮を再びお届け。レイザーラモンRG、兼光タカシ、NMB48、荒牧陽子、イチャ・ザハラ、ダブルネーム、たむたむが、あの熱気を呼び起こします。



TAKURO MUSIC EXPO to FUTURE & WORLD

8日(日)は、たくろうが未来へ語り継ぎ、世界へ届けたいアーティストを紹介。くまま、漫烈、HI↑GO、ハラダ合唱団らに加え、スペシャルゲストにきただにひろしが登場。たくろうならではの音楽ステージに注目!

★グルメ★

芸人グルメEXPO ※写真はイメージです



赤木そば

たくろう・赤木が2年間、毎日食べ続けているそばは、飾り気のない素朴で優しい味。「たくろう万博」ならではの"フェス飯"です。



銀次チャーハン

ドンデコルテ・渡辺銀次の「銀次チャーハン」が初めて世に送り出されます! 香ばしいネギ油の風味が広がる一皿を。



空から降る豚丼

豪快キャプテン・山下ギャンブルゴリラの実話から生まれた豚丼は、「元祖豚丼屋TONTON」とコラボしたオリジナルメニューです。



しゃぶ奉行町田監修 こだわりのポン酢で食べるしゃぶしゃぶ

趣味はしゃぶしゃぶというエバース・町田和樹が監修。「しゃ奉行」の掟に倣った町田流の味を、こだわりのポン酢で。

世界グルメEXPO

万博に出店した店舗も含め、11の国・地域の味が集まる「世界グルメEXPO」。アメリカのバーガー、メキシコのタコス、トルコのケバブ、韓国のフライドチキンやチヂミなど、各地の料理が楽しめます。タイ人シェフによる本格タイ料理、インドのバターチキンやハニーチーズナン、イタリアのボロネーゼの生パスタやドリアも登場。アフリカの食文化を伝える「PANAF」も出店します。スイーツも充実。フランスのエシレバターを使ったクレープやトルコアイス、ヨルダンのデーツシェイクにコーヒーのほか、カヌレパフェやブルンジコーヒーで人気を集めた「OKARADA」もやってきます。万博で出合った味との再会から、まだ知らない料理との出合いまで、食で世界を旅しましょう。

★パビリオン★

ヨルダン館

大人気の"ヨルダン館"が登場! 砂漠と死海の世界を体験

万博で話題を集めたヨルダンの世界を再び体験!砂漠の砂に触れたり、死海の塩水に物を浮かせたり、五感で楽しむ企画を展開します。アラブの衣装で記念撮影も。死海の泥を使ったハンドエステなど、有料の体験も予定しています。

表現の表現館



表現の表現館

守谷日和の「表現力選手権」を至近距離で! 楽曲に合わせた渾身のパフォーマンスが繰り広げられます。独特の表現の世界へ。

Laugh&Beat館



Laugh&Beat館

DJレイチェルが音楽ネタをリミックス。7日(土)は藤崎マーケットら、8日(日)は島田珠代らがゲスト出演します。

たくろう館

たくろう館

過去から現在に至るまでのたくろうを体感できる展示型バビリオン。これまでの軌跡や、これからの歩みを目撃してください。

★盆踊り★

万博盆踊り EXPO BON DANCE

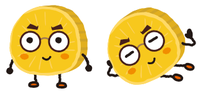


万博のあの熱気をもう一度! 秋の夜長を踊って楽しもう

大阪・関西万博のよしもとwarai myrai館で連日開催され、SNSでも話題になった「万博盆踊り」が帰ってきます。万博の記憶を振り返りながら、輪に加わって思いっきり踊ってください!

7日(土)・8日(日)の両日、夕方からの会場を盛り上げるのは、レイザーラモン、藤崎マーケットの"盆踊り神4"が降臨する「万博盆踊り」。万博で踊った人はもちろん、あの熱気を体験してみたかった人にとっても楽しみな企画です。両日とも17時15分頃のスタートを予定。16時以降に入場できる夜間券もあるので、夕方から参加したい人にもおすすめ。漫才や音楽、グルメを満喫した後は、盆踊りで一日の締めくくりを。万博の盆踊りを忘れられない思い出にした"神4"が、今度は万博記念公園で、あの熱気を生み出します。芸人と観客が一緒に踊る、にぎやかなフィナーレを!

オリジナル★グッズ★ たくろう万博



イベントを彩る限定グッズ!

たくろう万博の開催を記念したオフィシャルグッズが多数登場。イベントの思い出になる定番アイテムから日常使いしやすいものまで、幅広く取り揃えております。

料金

◎税込み価格 ◎小学生以下はチケット代無料(保護者1名につき小学生以下1名まで) ◎大人・高校生料金は万博記念公園入園料含む
◎夜間券は16:00以降「もみじ川芝生広場」会場への入場可能 ◎「夜間券」は「劇場型バビリオン」の観覧はできません

チケット購入はコチラより▶

［通期パス(2日券)］大人16,000円 高校生7,500円 中学生5,000円
［1日券］大人9,000円(当日9,500円) 高校生4,500円(当日5,000円) 中学生3,000円(当日3,500円)
［夜間券］大人4,000円(当日4,500円) 高校生2,000円(当日2,500円) 中学生1,000円(当日1,500円)

チケット取扱い

FANY Ticket 0570-550-100(10:00~19:00)
https://r.ticket.fany.lol/takuro-expo
●チケットぴあ https://w.pia.jp/t/takuro-expo/
●ローソンチケット https://l-tike.com/takuro-expo/
●イープラス https://eplus.jp/takuro-expo/

吉本興業

主催:吉本興業株式会社 共催:BSよしもと株式会社
企画制作:吉本興業株式会社
協力:2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィス

当社は反社会的勢力排除に全力で取り組みます。
「反社会的勢力排除宣言」 http://www.yoshimoto.co.jp/declation

大阪4オーケストラ クラシックの広場

Osaka 4major Orchestras
Plaza of Classical Music

大阪を拠点に活動する4つのプロのオーケストラが“クラシック音楽の魅力”をお届けします。
貴方も気軽にオーケストラと、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽に触れてみませんか?!

大阪フィルハーモニー交響楽団

TEL.06-6656-4890 https://www.osaka-phil.com

12/29 TUESDAY・12/30 WEDNESDAY

第9シンフォニーの夕べ

チケット発売中

○指揮／大植英次 ○独唱／盛田麻央（ソプラノ）、藤井麻美（アルト）、福井 敬（テノール）、萩原 潤（バリトン） ○合唱・大阪フィルハーモニー合唱団（合唱指揮:福島章恭） ○曲目／ベートーヴェン:交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」


©飯島隆

2026年を締めくくる、毎年恒例の「第9シンフォニーの夕べ」。今年は「大阪クラシック」でもお馴染みの当団桂冠指揮者・大植英次が指揮台に立ちます。同シリーズへの大植の出演は音楽監督を務めていた2008年、旧フェスティバルホール・クロージングコンサート以来となります。大植英次の第9といえば、毎回さまざまなアイディアあふれる演奏で会場を沸かせてくれますが、今年はどんな演奏となりますでしょうか。2026年の聴き納めは、ぜひフェスティバルホールで!

■会場／フェスティバルホール
■開演／17:00
■料金（税込）／全席指定 A¥7,000 B¥5,500 C¥3,500 BOX¥8,000
■Pコード／315-740 ■Lコード／58527
※未就学児入場不可

取扱 ①大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890 ②フェスティバルホールチケットセンター ☎06-6231-2221（10:00～18:00） ③チケットぴあ https://t.pia.jp ④ローソンチケット https://l-tike.com ⑤イープラス https://eplus.jp ⑥teket（テケト） https://teket.jp/

須山暢大

伝統の大フィルサウンドを
継承していく責任を強く感じています!

1927年に創立80周年を迎える大阪フィルのコンサートマスター須山暢大がリハーサルの合間に、会うことが叶わなかった創立名誉指揮者 朝比奈隆への思いや、伝統の大フィルサウンドについて語ってくれた。


©飯島隆

SPECIAL INTERVIEW

―― ヴァイオリンはいくつから、どういうきっかけで始められましたか。ヴァイオリンに向けた気持ちの変遷を教えてください。

親の勧めで始めたのが4歳の時。小学校高学年の頃には色々な巨匠たちのCDを聴いていました。中学生の時にはヴァイオリンのない生活は考えられないと思うようになり、少しずつヴァイオリンを仕事にしたいという思いへと繋がっていきました。

―― 好きな作曲家や、好きな曲を教えてください。

ベートーヴェンの後期弦楽四重奏曲とマーラーの交響曲第9番は、編成こそ違いますが、どちらも「人間が生きるということ」を深く考えさせられる、私にはかけがえのない音楽です。ベートーヴェンの音楽には、喜びや苦しみ、愛、葛藤、孤独、ユーモアなど、人間の持っているものがすべて詰まっているように感じます。マーラーの交響曲第9番はオーケストラの醍醐味をいちばん感じられる曲で、マーラー自身が死を強く意識していた時期に書かれた作品として特別なものを感じます。

―― 大阪フィルのコンマスになった経緯を教えてください。大阪フィルの印象は入団後、どう変わりましたか。

ゲストで呼んでいただいたのが最初です。指揮は井上道義マエストロだったのですが、気に入っていただいて、その後も定期的に声をかけてもらうようになりました。今は世界的に見ても、オーケストラの個性が薄れて来ているように感じるのですが、大阪フィルには長い歴史の中で受け継がれてきた唯一無二の音があります。とても人間味のある魅力的なオーケストラです。

―― 大阪フィルのコンマスは、尾高さんが音楽監督になられた2018年からですね。サウンドや音楽性など変化はありましたか?

音色や個性は変わっていないと思いますが、尾高マエストロの厳しいリハーサルを重ねる中で、アンサンブルの精度や安定感は確実に上がっています。周りの音や全体のバランス、音楽の流れなどにアンテナを張って、意識して互いの音を聴きながら音楽を一つにしていく力が高まったように感じます。

―― 大阪フィルのコンマスとして、忘れられない演奏とその理由を教えてください。

大阪フィルは長くブルックナーを演奏してきたオーケストラ。交響曲は全て演奏しましたが、第8番は特に印象に残っています。尾高マエストロの集中力ある的確なリードも本当に素晴らしく、大阪フィルでブルックナーを演奏することの喜びを強く感じた演奏でした。

―― 来年はいよいよ創立80周年。須山さんは創立名誉指揮者の朝比奈隆をどう思われていますか?

僕は朝比奈隆先生にお会いしたことも、その指揮で演奏したこともありません。本当に残念なのですが、朝比奈先生が大阪フィルに注いでこられた情熱には尊敬の念を抱いています。「朝比奈・大フィル」として長く多くの方に親しまれてきたには、楽団にとって大きな財産だと思います。私も大阪フィルの一員として、その音楽を受け継いでいければと思っています。

―― 最後に大阪フィルのファンにメッセージをお願いします。

いつも大阪フィルを温かく応援してくださり、本当にありがとうございます。皆さまに演奏を聴いていただけることを嬉しく思いながら、一つひとつの演奏会を大切に、音楽と真摯に向き合っていきたいと思っています。これからも大阪フィルの音楽を楽しみに、ぜひ演奏会へ足を運んでいただけたら嬉しいです。皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

大阪フィルハーモニー交響楽団

NO.9 第9シンフォニーの夕べ
ベートーヴェン:
交響曲 第9番 二短調
作品125「合唱付」

ソプラノ:盛田麻央
アルト:藤井麻美
テノール:福井 敬
バリトン:萩原 潤
指揮:大植英次
合唱:大阪フィルハーモニー合唱団（合唱指揮:福島章恭）

12月29日（火）・30日（水） 両日とも 午後5時開演
A席7,000円 B席5,500円 C席3,500円 BOX席8,000円

新春名曲コンサート

メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲
（独奏:吉本梨乃）
J.シュトラウスII世:
喜歌劇「こうもり」序曲
ワルツ「美しく青きドナウ」ほか
指揮:松本宗利音

2027年 1月9日（土） 午後3時開演
A席6,500円 B席3,500円 BOX席7,500円

★豪華賞品が当たる! お楽しみ抽選会あり

両公演とも会場 フェスティバルホール ※全席指定・税込 ※未就学児入場不可

発売中 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 月～金10:00～18:00 土10:00～13:00・日祝休

関西フィルハーモニー管弦楽団

TEL.06-6115-9911 https://kansaiphil.jp

11/28 SATURDAY

第369回定期演奏会

チケット発売中

○指揮&ヴァイオリン／オーギュスタン・デュメイ（関西フィル名誉指揮者） ○ピアノ／ジャン=フレデリック・ヌーブルジェ ○曲目／シューマン:ヴァイオリン・ソナタ 第1番、ピアノ協奏曲 イ短調 作品54、メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」抜粋（5曲）


©Eiian Ibichini


©Carole Bellaiche

名誉指揮者オーギュスタン・デュメイが1年ぶりに登場。ドイツ・ロマン派を代表する親友同士、シューマンとメンデルスゾーンの名曲を取り上げます。まずはシューマンのヴァイオリン・ソナタ 第1番。ジャン=フレデリック・ヌーブルジェのピアノとのデュオで、久しぶりにデュメイのヴァイオリンをお楽しみいただきます。続いてデュメイの指揮・ヌーブルジェのピアノでドラマティックなピアノ協奏曲 イ短調を。後半は2023年のヨーロッパツアーでも好評を博したメンデルスゾーンの「夏の夜の夢」。妖精たちが住む森の情景に人間たちの恋の騒動、デュメイのタクトでシェイクスピア劇のファンタジーな世界が目の前に広がります。秋深まる午後、夢のような時間をご一緒に。

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500 学生席（25歳以下）¥1,000
■Pコード／331-473 ※未就学児入場不可

取扱 ①関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 ②関西フィルWebチケット https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s ③ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333（11:00～16:00 火曜定休） https://www.symphonyhall.jp ④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤イープラス https://eplus.jp

杉本沙織

名曲の数々で彩る、
華麗なるニューイヤーコンサート

関西フィルのホームグラウンド、門真市民文化会館ルミエールホールで行われる「ニューイヤーコンサート」には、門真出身のピアニスト杉本沙織がソリストとして登場し、故郷に錦を飾る。ロシアではスクリャービンを専門に学んでいるという杉本に、あんなコトやこんなコトを聞いてみた。


©SHIN YAMAGISHI

SPECIAL INTERVIEW

―― 簡単な自己紹介をお願いします。

大阪府出身です。幼稚園から高校までは大阪信愛女学院に通っていました。その後は東京藝術大学に入り、現在は博士後期課程に在籍中です。2022年からモスクワ音楽院本科に留学しており、昨年からは外務省の派遣研究員として引き続き駐在中です。スクリャービンの演奏様式の研究に注力しています。

―― 留学先にロシアを選ばれた理由を教えてください。また、現在学校では どのようなことを学ばれていますか。

藝大でロシア音楽を薦められたことを契機に、大学院でスクリャービンテーマに修士論文を書き、同時にこの作曲家の弾き方を本場で学ぼうと思いロシアに渡りました。現在はスクリャービンの大家として有名な教授のクラスに入り、ソナタ作品を全曲マスターすることを目指しています。

―― 門真出身なのですね。

生まれた時からずっと同じ門真市のマンションで育ち、今でも実家は変わっていません。私が人前で初めてピアノを弾いたら褒める時の発表会がこの門真市のルミエールホールでした。今回の演奏会のチラシもマンションの掲示板に貼っていただいています。

―― ラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」はどんな曲ですか。聴きどころやエピソードをお聞かせください。

今回初めて演奏しますが、本作品は変奏曲形式であることで、例えば協奏曲第3番などにはない難しさを感じます。曲を鮮やかに展開させていけるかどうかが、ひとえに演奏者の力量にかかっているように思います。個人的に大好きなのは第15変奏です。ピアニスティックな細かいパッセージが大変楽しい部分で、勝手に星屑の瞬きと名付けています。あまりに好きなので朝起きたら一番に弾いています。

―― 藤岡幸夫マエストロや関西フィルに対してどんな印象をお持ちでしょうか。

夏に東京オペラシティで邦人によるチェロ協奏曲を聴かせて頂きましたが、指揮棒から溢れ出るように音を操られる藤岡先生のお姿が忘れられません。藤岡先生が著書の中で、関西フィルはラテンな音楽をしているオーケストラと書かれていたことが印象に残っています。私自身、藝大に入った時に弾き方ですぐに関西育ちと分かると言われることがありましたので、そうした関西らしいと言われる音楽性には個人的にとても親しみを感じます。今回演奏する曲も比較的ラテンな作風だと思いますので、関西育ちを生かしてこの曲の楽しさを思い切り表現できるのではないかと今から楽しみにしています。

―― マイブームは何でしょうか。

昨年家族からプレゼントされたデジカメでスナップ撮影するのがマイブームで、ロシアの街中や地下鉄などの風景を撮っています。昨今の情勢もあり、私がロシアでつい目に遭っているのではないかなど心配いただきますが、現地の皆様はいつも親切です。ロシアで生き生きと生活する人々が、私の写真の主人公です。

―― コンサートへの意気込み、お客様へのメッセージをお願いします。

門真市に住んでいる頃から取り組んできたラフマニノフを初舞台のルミエールホールで演奏できるという、私にとって特別な舞台です。地元への感謝を込め、藤岡先生と関西フィルハーモニーの皆さまと新年を華麗に祝えるように演奏致します。多くの方に応援していただけたら嬉しいです!

◎Interview&Text／関西フィルハーモニー管弦楽団事務局
◎監修／磯島浩彰

Supported by 高砂熱学工業株式会社

関西フィルハーモニー管弦楽団

華麗なるニューイヤーコンサート

第1部
◆ラフマニノフ:
パガニーニの主題による狂詩曲 ほか

第2部
◆バデルト&ジマー:
「バイレーツ・オブ・カリビアン」メドレー
◆エルガー:「威風堂々」第1番 ほか

2027 1/17（日） 15:00開演（14:00開場）
門真市民文化会館 ルミエールホール

1階席¥4,500 2階席¥3,500
学生席（25歳以下）¥1,500
［門真市民割］1階席¥4,100 2階席¥3,100
※全席指定・消費税込 ※未就学児入場不可

指揮&お話:藤岡幸夫（関西フィルハーモニー音楽監督）
ピアノ:杉本沙織

ご予約お問合せ 関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911（平日10:00～17:00、土10:00～16:00）
関西フィルWEBチケット（オンラインでのお申し込み）https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s/

大阪交響楽団

TEL.072-226-5522 https://sym.jp

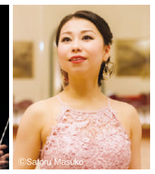
'27 2/6 SATURDAY

大阪交響楽団 第293回定期演奏会
【オペラ・演奏会形式シリーズ Vol.5 “スペインの時”】

チケット発売中

○曲目／バーンスタイン:「キャンディード」序曲、「ウエストサイドストーリー」より“シンフォニックダンス”、ラヴェル:歌劇「スペインの時」演奏会形式 原語（フランス語）上演［日本語字幕付き］


©T.Tairadate


©Satoru Mosuko

柴田真郁×大阪交響楽団の「オペラ・演奏会形式シリーズ」も早くもVol.5を迎える。今回の演目は、柴田が長年温め、またラヴェル自身が「コメディ・ミュージカル」と銘打っている「スペインの時」。今回の歌手陣も柴田真郁自らが選び抜いた名歌手がそろい、「ラヴェル没後190年」の記念年に、この隠れた名作をお届けします。

■指揮／柴田真郁（ミュージックパートナー）
■出演／砂田愛梨（ソプラノ:コンセプシオン（トルケマダの妻））、澤原行正（テノール:コンサルヴェ（独身の男、詩人））、水口健次（テノール:トルケマダ（時計屋の亭主））、町 英和（バリトン:ラミーロ（ラバ引き））、湯浅貴斗（バス:ドン・イニーゴ・ゴメス（銀行家））

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 S¥6,500 A¥5,000 B¥4,000 C¥2,500 D¥1,000 オルガン¥2,000 青少年学生券1回券¥1,000 青少年学生券5回券¥4,000
※未就学児入場不可 ※座席によっては、字幕が見えない席もございますのでご了承ください

取扱 ①大阪交響楽団チケットセンター ☎072-226-5522（平日10:00～17:00） https://sym.jp ②teket（テケト） https://teket.jp/ ③“ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333（11:00～16:00 火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

柴田真郁

“音の魔術師”ラヴェルの
意欲作に挑む!

今年度の「オペラ・演奏会形式シリーズ」は、ラヴェルの1幕オペラ「スペインの時」を大阪響ミュージックパートナーの柴田真郁が指揮する。作品の魅力やキャストについて多忙を極める柴田が語ってくれた。


©飯島隆

SPECIAL INTERVIEW

―― シリーズ5回目はラヴェルの「スペインの時」。珍しいオペラが選ばれました。

ラヴェル自身が「コメディ・ミュージカル」と呼び、彼が愛したスペインのテイストを盛り込んだ1幕オペラです。シリーズ第2弾でラヴェルの「子供と呪文」を上演したので、彼のオペラ2作品をコンプリートした形になります。上演機会の多いイタリアオペラやドイツオペラではなく、20世紀のフランスオペラは、こういう機会に意図的に取り上げなければ、演奏機会は限られています。音大の授業では教えてくれない音楽で、レパートリーにしている歌手はいないはずだ。これは制作側にも言えることで、演奏会のプログラムが偏って来ています。このままでは20世紀の作品は私が大切にしている邦人作品と同じく、埋もれてしまう傾向にあります。私が日本とパキスタンのハーフという事もあって、邦人作品や私と同じ20世紀の音楽が廃れていくのは見過ごせないというのが私の考えのベースにあるのです。

―― 「スペインの時」はどんなオペラですか。

指揮者泣かせの作品です。全編レチタティーヴォのような音楽で、明確なアリアがある訳ではなく、言葉と音符で芝居も成立させるのが至難の技。テンポ感をガラッと変えるためには高度なパトンテクニックが必要。そういう点からも、小澤征爾さんが得意とされていました。「スペインの時」は戦争の足音が近付く中、国民を元気づけようとラヴェルが書いた社会を風刺したオペラです。男女の色恋沙汰のハナシですが、描き方が男女逆というか、女性だって同じだということで、モーツァルトの「コジ・ファン・トゥッテ」を思い出します。私にとって挑戦と言えるでしょうね。

―― 前半にはバーンスタインの人気の曲が並びました。

20世紀の作品がマズイことになっているというのは、バーンスタインも同じです。大阪の学生がバーンスタインを知らなくて唖然としました。バーンスタインは、ラヴェルのオーケストレーションの色彩感から作曲技法を学んだと言っているので、ラヴェルとのカップリングはいいんじゃないでしょうか。ただ、「キャンディード」も「シンフォニックダンス」も名曲の宝庫ですが、「スペインの時」は口ずさめる曲は皆無のはずです。その違いも面白いと思います。

―― キャストについて教えてください。

キャストは5人で、合唱は入りません。主役で唯一の女性が砂田愛梨さんです。以前、ヴォルフ=フェッラーリの「イル・カンピエッロ」でご一緒した時が素晴らしかったので、2023年のシリーズ1回目の「ルサルカ」にご出演いただきました。華やかな天上の声とは別に、棘のあるサディスティックな声もお持ちで、表現力は申し分なし。コンセプシオンは彼女しかいないと思いお願いしました。澤原行正、水口健次、町英和、湯浅貴斗という男性陣も、皆さんクレバーでインテリジェンスなアーティスト。作品は感情的でも、頭で音楽を作れないと、ラヴェルの沼にハマりますよ。素晴らしいキャストが揃いました。

―― メッセージをお願いします。

「スペインの時」はこの機会を逃すと二度と聴けないと思います。ぜひ会場でお聴きください。それと来年4月にバッハの「マタイ受難曲」を、初演300年記念として指揮します。大阪響の皆さんとオペラ的なアプローチで迫ろうと思っています。詳細はまた改めて。

◎Interview&Text／磯島浩彰

OSAKA Symphony Orchestra

音楽のあるひととき Vol.2
シマノ自転車博物館

公演時間 60分

2027年2月21日（日）14:00開演［13:30開場］

出演 村上 慈（ヴァイオリン）、園部 真秀（ヴィオラ）、奥木 華菜子（フルート） 他

料金 演奏会＋シマノ自転車博物館入館料セット券 チケット発売日：11月17日（火）
◇一般：2,000円 ◇65歳以上及び小中学生：1,500円 ◇高校生・大学生：1,700円
※料金は全て税込み表示です。 65歳以上の方は写真が確認できるもの、高校生、大学生は学生証を持参ください。

お問い合わせ・チケット取り扱い
◇大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522（平日 10:00 ～ 17:00）
◇シマノ自転車博物館（代表）072-221-3196（平日 10:00 ～ 16:30 ※入館は 16:00 まで） ◇teket https://teket.jp/

日本センチュリー交響楽団

TEL.06-6848-3311 https://www.jcso.or.jp

12/4 FRIDAY

第302回定期演奏会

チケット発売中

○指揮／アルヴォ・ヴォルマー ○チェロ／佐藤晴真 ○曲目／ブラームス:悲劇的序曲 作品81、ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 作品107、ブラームス:交響曲 第3番 ヘ長調 作品90


©Kaupo Kikkas


©Seiichi Saito

胸の奥に沈む響きが、静かに熱を帯びていく。アルヴォ・ヴォルマーのタクトが引き出すのは、ブラームスとショスタコーヴィチの音楽に宿る詩り、孤独、そして祈りです。冒頭のブラームス「悲劇的序曲」では、張りつめた空気のなかに人間の意志を緊密な響きで描き出します。ショスタコーヴィチ「チェロ協奏曲 第1番」では、佐藤晴真のチェロが鋭く切実な声を放ち、楽器の表情を際立たせます。そして後半のブラームス「交響曲 第3番」では、内面に燃える憧れと時への眼差しが気品ある旋律のうねりとなって満ちていきます。心へ深く届く時間を、ぜひご堪能ください。

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 S¥10,000（特典付） A¥7,000 B¥5,500 C¥4,000 D¥3,000
■Pコード／317-802 ■Lコード／58302
※未就学児入場不可

取扱 ①センチュリーチケットサービス ☎06-6848-3311（火曜を除く平日10:00～18:00） https://www.jcso.or.jp/ticket/ ②ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333（11:00～16:00 火曜定休） https://www.symphonyhall.jp ③teket（テケト） https://teket.jp/15715/76371 ④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤ローソンチケット https://l-tike.com ⑥イープラス https://eplus.jp

アルヴォ・ヴォルマー

エストニアの名匠と紡ぐ
黄金期の響きと深層のドラマ

2026年4月、日本センチュリー交響楽団の首席客演指揮者に就任したアルヴォ・ヴォルマー。センチュリーと紡ぐブラームスとショスタコーヴィチの密度の高い音楽世界を語ってくれた。


©Kaupo Kikkas

SPECIAL INTERVIEW

―― 日本センチュリー交響楽団との出会いについて教えてください。

昨年初共演をしたばかりですが、素晴らしいものでした。楽団員からは高い技術とクオリティ、そして音楽への深い愛が溢れ出ています。圧巻のエネルギーと情熱が詰まったベートーヴェンの交響曲第7番に呼応するような、精神性豊かなブリテンのヴァイオリン協奏曲やベルトのプログラムでした。信頼する彼らとともに、交響楽の黄金期を巡る“時空の旅”を深めていけることを嬉しく思っています。

―― 今回のコンサートの聴きどころは?

今シーズンのテーマであるブラームス。彼の交響曲には、古典的な形式美とロマンティックな情緒、テーマの持つ感情的要素が融合することで、固有の調和と堅固さが生み出されています。交響曲第3番の荘厳で穏やかな安らぎ、そして「悲劇的序曲」に宿る運命の打撃と激しい情熱は、聴く人の心を捉えて離しません。対照的に、ショスタコーヴィチのチェロ協奏曲第1番にはソリストに高い技巧が求められますが、同時に重厚な社会的メッセージも担う稀有な名作です。1959年に書かれたこの曲には、恐れられた独裁者が世を去ってから6年が経過してもなお、スターリン政権下の恐怖政治の影や変革への失望感が滲んでいます。古典的構造を土台としながら、対極にあるパーソナルな想いを昇華させた両巨匠のコントラストが最大の聴きどころです。

―― 今回のプログラムでセンチュリーとの演奏に期待することは?

作品に応じたそれぞれのアプローチを楽団員たちと共に見出していくことが私の目標です。1880年代のブラームスの気品と、ショスタコーヴィチの生々しくストレートな世界という対照的な2つの世界を創り出すため、オーケストラと細部まで響きを探求できればと思っています。特にブラームスの作品でロマン派の美しいメロディを楽器の上で歌わせることは大きな挑戦であり、華やかで繊細なノスタルジーを追求したいです。

―― 日本の聴衆の皆さんへメッセージをお願いします!

私にとってブラームスは自身の感性に極めて近い特別な存在です。プログラムを通じて愛のメッセージを感じていただき、ショスタコーヴィチが示す人間存在の影の側面という痛烈な投げかけが、その愛の存在感をよりいっそう際立たせることを願っています。

◎佐藤晴真（チェロ）公演へのメッセージ

ありがたいことに今回、ショスタコーヴィチのコンチェルト第1番を初めて演奏させていただきます。日本センチュリー交響楽団の皆様とマエストロ・ヴォルマーさんの指揮でどんな音楽に辿り着くのかとても楽しみです。会場でお待ちしています!



◎Interview&Text／日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団

第303回定期演奏会
2027 1/16（土） 14:00 ザ・シンフォニーホール

京都公演
2026 1/17（日） 14:00 京都コンサートホール 大ホール

指揮:久石 譲（日本センチュリー交響楽団 音楽監督）
ピアノ:亀井聖矢
©s.yamamoto ©RyuyaAmao

曲目
ブラームス:大学祝典序曲
ニコ・ミューリー:ピアノ協奏曲
ブラームス:交響曲 第4番

お問合せ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311（火曜を除く平日10:00～18:00） https://www.jcso.or.jp/ticket/

弾む音符の 向こう側♪

writing by Hiroaki Isojima

「復活」で復活計画、問題なくミッション完了しました

前号「MEG8月号」の当コラムは、私の1カ月半に及ぶ闘病記について書かせていただいたのですが、最後にこう記しました。「…そしてワクシ、この壮大なタバタ闘病劇「心臓にメスを。くちびるに歌を」を締め括るため、無茶を承知で9月に「復活」を歌い、復活を目指します」と。マーラーの交響曲第2番「復活」を歌って社会復帰へ弾みをつけたい、自らに対する試練の投げかけだった訳ですが、そのコンサート「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」が9月12日に無事に終了し、私は合唱団のメンバーの一員として登壇し、無事に「復活」を歌い切ることが出来ました。今回、心臓の手術だったので疲れが半端なく、退院から1カ月半そこらで滋賀から京都に出向いての集中練習参加、そして本番出演って実現可能なのかどうかわかりませんでした。しかし外に向かって発表した以上やるしかないと、珍しく頑張りました。

コンサートは、指揮が園田隆一郎マエストロ、オーケストラは京都市交響楽団、そして合唱が「京都の秋音楽祭」30回記念市民合唱団ということで、私は一般公募から選ばれた200人の大合唱団の中の一人として歌わせて頂きました。合唱団に応募したのは今年4月で、初練習が5月。練習2回参加したところで手術&入院が決まり、途中病院を抜けて練習に参加したこともありました。しかしどうしても敬愛する園田マエストロの指揮する「復活」を歌いたかったのです。ソリストが船越亜弥さん（ソプラノ）と八木寿子さん（メゾソプラノ）というのも私には魅力的でした。今回「復活」が歌えたら、自分の復活に自信を持てるのではないか。しかし、自分が本番の舞台で歌っている姿は最後までイメージ出来なかったのも事実。不安材料が体力面だけではなかったからです。病院から処方された薬に強い利尿剤があり、デリケートなトイレの問題があったのです。「80分を超える「復活」を無事に歌い切れるのか?」会場の京都コンサートホールスタッフに正直に相談したところ、「頑張って来たのですから、一緒に素晴らしい本番を迎えましょう!」と言っていただき、立ち位置の配慮や使用ステッキの保管など、特別な対応をしていただきました。私も二日前から薬を控え、ここだけのハナシ、紙おむつを履いて本番に臨みました。しかし本番では合唱メンバーと共に集中して歌うことが出来、心配は杞憂に終わりました。演奏は上手くいったと思います。会田莉凡コンマスの京響は見事でした。合唱も多くの方にお褒めの言葉を頂きました。これは歌える環境をサポートしてくださったホールスタッフのおかげで、本当に感謝しています。私にとって特別で、大好きなコンサートホールがまた出来ました。

そして3週間後、世界最高峰のロンドン交響楽団がサー・アントニオ・パパーノの指揮でマーラーの「復活」を演奏するのを、私はフェニーチェ堺の客席で聴いていました。合唱はプロの東京混声合唱団。この素晴らしい演奏を、自身が体験した「復活」の後に客席で聴くことの出来る幸せと言ったら…。以上、「復活」で復活計画の報告でした。ごめんなさい、笑ラトヨ無かったですね。次号は恒例、大阪4オケの来年度に向けた特集です。取材、頑張ります。ご期待ください!

磯島 浩彰（音楽ライター）／エンターテインメントの仕事に携わること40年。エンタメは人を元気にするチカラがある。こんな時だからこそ、エンタメの魅力をみんなに届けたい! と、面白いネタを探しに、今日もホールや劇場を飛び回っている。

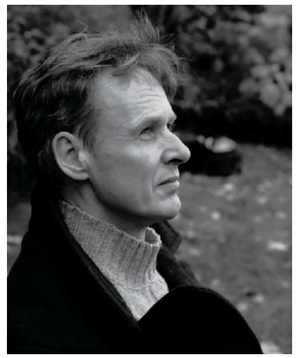
あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

TEL.06-6363-7999 《チケット購入・お問合せ　https://phoenixhall.jp/

注目アーティストシリーズ85
'27 1/16 SATURDAY　イアン・ボストリッジ ～冬の旅～

チケット発売中

◎出演／イアン・ボストリッジ(テノール)、ジュリアス・ドレイク(ピアノ)
◎曲目／シューベルト:歌曲集「冬の旅」op.89 D911 ※公演時間 約80分/休憩なし



共に旅を。そしてその核心へ――

現代最高峰のテノール歌手、イアン・ボストリッジとその盟友であるピアノのジュリアス・ドレイクが、18年振りに、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールに登場します。演奏されるのはシューベルトの最高傑作であり、ボストリッジの代名詞とも言える「冬の旅」(全曲)。失恋の痛手から、厳しい雪景色の中を彷徨う若者の孤独と絶望。時に演劇的とも評されるボストリッジの歌唱は、歌曲としての美しさにとどまらず、ドラマとしての側面を際立たせます。そして、独特の陰影を持つリリック・テノールの歌声と、緻密でドラマティックなピアノが、物語の輪郭をより立体的に描き出すのです。親密な空間と極上の音響を備えたザ・フェニックスホールは、この深遠な音楽世界の真髄を味わうのにこれ以上ない理想的なステージ。唯一無二のデュオが紡ぎ出す、美しくも残酷な冬の旅路。…共に、旅を。

■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥9,000　学生(25歳以下)¥3,000
友の会会員¥8,100
■チケット取扱い／下記①⑥⑧　■Pコード／327-825
※未就学児入場不可

住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188 《チケット購入・お問合せ　https://www.izumihall.jp 《チケット購入OK

12/10 THURSDAY　彗星 8つの軌道　ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲シリーズ Vol.2

チケット発売中

◎出演／アデル・ラーマン・エルバシャ(ピアノ) ◎曲目／ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第1番、第24番(テレーゼ)、第23番(熱情) ほか



2027年のベートーヴェン没後200年に向け、8名のピアニストによってピアノ・ソナタ全曲を演奏する「彗星 8つの軌道」シリーズ。Vol.2には、2度の全曲録音を行い「ベートーヴェンの音楽には、人生の指針が秘められている」と語るエル=バシャが登場します。知的で端正な表現と温かいまなざしを併せ持つ巨匠が、3大ソナタの一つ〈熱情〉を中心に、若きベートーヴェンの姿を描き出します。

■会場／住友生命いずみホール　■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥6,000　U-30¥2,500
■チケット取扱い／下記②⑥⑦⑧
■Pコード／317-120　■Lコード／55820
※未就学児入場不可
※U-30は小学生～30歳以下限定《限定数:②(web)のみ取扱い》

12/23 WEDNESDAY　ランチタイム・コンサート Vol.33　ハレルヤとともに　―きらめく弓で満たされるクリスマス

チケット発売中

◎出演／太山秀穀(指揮・お話)、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか ◎曲目／J.S.バッハ:カンタータ「喜びて舞い上がれ」ヘンデル:「メサイア」より ほか



平日のお昼、出演者のお話を交え、気軽にクラシック音楽を楽しめる「ランチタイム・コンサート」。今回は、クリスマスの音楽でライプツィヒ、パリ、ロンドンを巡る旅へお連れします。ドイツではバッハのカンタータ、フランスで親しまれるキャロルの旋律が聴こえ、ハレルヤの合唱でクリスマスの喜びは最高潮に!声楽と古楽器のアンサンブルによる、本格的なヨーロッパのクリスマスをご堪能ください。

■会場／住友生命いずみホール　■開演／11:30
■料金(税込)／全席指定　一般¥3,000
■チケット取扱い／下記②⑥⑦⑧
■Pコード／331-232　■Lコード／53915
※未就学児入場不可

神戸文化ホール

TEL.078-351-3349 《お問合せ　www.kobe-bunka.jp/hall/ 《チケット購入OK

'27 2/6 SATURDAY '27 2/7 SUNDAY　スカイライト Skylight

10/30(金)～チケット発売

◎作／デヴィッド・ヘア ◎翻訳／小澤英実 ◎演出／杉原邦生 ◎出演:咲妃みゆ、山路和弘、中山翔貴

時代を超えて
愛され続ける傑作が、
魅力的なキャストと
ともに神戸へ。



イギリスの劇作家 デヴィッド・ヘアによる不朽の名作が神戸に登場します。1995年にロンドンの国立劇場で初演されると絶賛を博し、ローレンス・オリヴィエ賞を受賞。翌年にはウェストエンドやブロードウェイにも進出し、2015年にはトニー賞リバイバル作品賞を受賞するなど各国で話題をさらいました。その作品が、多彩な演劇シーンで活躍する杉原邦生の演出のもと、ストレートプレイやミュージカルで注目を集める咲妃みゆをはじめ、山路和弘、中山翔貴の3人の実力派俳優たちによって紡がれます。登場人物たちの複雑な関係性や感情の機微、価値観や生き方を描き出す、普遍的な人間ドラマにどうぞご期待ください!

■会場／神戸文化ホール 中ホール　■開演／各日14:00
■料金(税込)／全席指定　SV6,500　AV5,000　※神戸割(各¥500引き)　U25(25歳以下・S席のみ)¥3,500
■チケット取扱い／下記③⑥⑦⑧　■Pコード／545-190　■Lコード／53985
※未就学児入場不可 ※座席列は「1列」が最後列となります ※U18(無料)あり[詳細は神戸文化ホールホームページをご確認ください]

すばるホール

TEL.0721-25-0222 《お問合せ　http://subaruhall.org/ 《チケット購入OK

11/7 SATURDAY　尾崎亜美　50th Ami-versary Concert Tour 2026

チケット発売中

◎出演／尾崎亜美、小原礼、是永巧一 ◎曲目／オリビアを聴きながら、マイ・ピュア・レディ、天使のウィンク ほか



デビュー50周年記念コンサート

1976年「冥想」でデビュー、「マイ・ピュア・レディ」「初恋の通り雨」など多くの代表曲を持つ。デビュー3年目より他のアーティストへ楽曲提供を行い、「春の予感」、「オリビアを聴きながら」、「天使のウィンク」など数々のヒット曲を提供。シンガーソングライターとしてだけでなく、日本の音楽シーンを支えるプロデューサーの草分け的存在となる。

■会場／すばるホール 2階ホール　■開演／17:00
■料金(税込)／全席指定 ¥8,500　■チケット取扱い／下記④⑥⑦⑨
■Pコード／324-921　■Lコード／54795
※未就学児入場不可

'27 1/23 SATURDAY　サンプラザ中野くん＆パッパラー河合(爆風スランプ)　Special LIVE

チケット発売中

◎出演／サンプラザ中野くん、パッパラー河合 ◎曲目／Runner、大きな玉ねぎの下で、旅人よ～The Longest Journey ほか



「爆風スランプ」のヒット曲が満載

1984年に爆風スランプのヴォーカルとギタリストとしてデビュー。現在は、歌手・ギタリストとして活動する二人による、爆風スランプのヒット曲が満載のスペシャルライブ。

■会場／すばるホール 2階ホール
■開演／16:30
■料金(税込)／全席指定 ¥6,800(当日¥500増)
■チケット取扱い／下記④⑥⑦
■Pコード／333-875
■Lコード／53168
※未就学児入場不可

東京建物 Brillia HALL 箕面
(箕面市立文化芸能劇場)

TEL.072-726-3000 《お問合せ　https://minoh-geino.jp

12/12 SATURDAY　八神純子 Live 2026 with 塩谷哲　～キミの街へ チョコっとライブ～

チケット発売中

◎出演／八神純子、塩谷哲 ◎スペシャルゲスト／森下幸路(ヴァイオリン)
大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター

八神純子の伸びやかで力強い歌声と、塩谷哲の繊細で豊かなピアノが響き合う。名曲の数々を、ふたりならではの特別なアレンジで楽しむ、心に響くスペシャルライブ。
今回は大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター・森下幸路(ヴァイオリン)がゲスト出演



■会場／東京建物 Brillia HALL 箕面(箕面市立文化芸能劇場) 大ホール
■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 ¥8,000
■チケット取扱い／下記⑤⑥⑦⑧
■Pコード／338-030　■Lコード／72859
※未就学児入場不可

'27 1/16 SATURDAY　世良公則　アコースティックソロライブ2027　～逝る(hotobashiru)～　生きるチカラが炸裂にある

10/24(土)～チケット発売

「あんたのバラード」「燃えろいい女」など数多くのヒット作を世に送り出し、日本のロックミュージック界を牽引してきた世良公則がアコースティックソロライブを開催。エネルギーに満ち溢れた歌声でお届けします。



■会場／東京建物 Brillia HALL 箕面(箕面市立文化芸能劇場) 大ホール
■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 ¥7,500
■チケット取扱い／下記⑤⑥⑦⑧
■Pコード／339-056　■Lコード／54801
※未就学児入場不可 ※小学生以上は要チケット



チケット取扱い
①ザ・フェニックスホールチケットセンター ☎06-6363-7999(10:00～17:00 土・日・祝日休業) ②住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188(10:30～17:00 日・祝日休業) https://www.izumihall.jp/ticket/
③神戸文化ホールプレイガイド ☎078-351-3349(10:00～17:00 月曜定休 ※祝日の場合は翌平日) https://www.kobe-bunka.jp/hall/ ④すばるホール(チケット専用) ☎0721-26-2060 http://subaruhall.org/
⑤東京建物 Brillia HALL 箕面チケットセンター ☎072-737-4343(10:00～17:00 不定休) ⑥チケットぴあ https://t.pia.jp ⑦ローソンチケット https://l-tike.com ⑧イープラス https://eplus.jp ⑨CNプレイガイド ☎0570-08-9999 https://www.cnplayguide.com

SPECIAL INTERVIEW 01
沖澤のどか Nodoka Okisawa

指揮者・沖澤のどか、フェニーチェ堺に初登場

沖澤のどかが初登場となるフェニーチェ堺。11月14日(土)の東京混声合唱団 堺特別演奏会に続き、新年1月17日(日)には京都市交響楽団 堺特別公演に登場。世界的ピアノデュオ・ユッセン兄弟との共演で、音がはじける!



―― フェニーチェ堺は、今回が初登場となります。
初めてうかがうホールですので、どのような響きなのか、リハーサルの際には私も客席から音を味わいたいと思っています。お客様の雰囲気も会場によってさまざまですので、どのような出会いがあるのか、今から楽しみです。

―― 11月の公演で共演される東京混声合唱団の皆さんとは、ご縁が深いそうですね。
前回は2023年に東京で共演していますが、さらに遡ると、学生時代からご縁があるんです。東混の皆さんは、古楽から現代音楽、童謡や歌謡曲まで幅広いジャンルの音楽に取り組まれていて、それぞれのスタイルに合った音楽をしっかりと創り上げています。そうした柔軟性が、東混の大きな魅力だと思います。この公演でも、クラシックと日本の曲を組み合わせたプログラムをお届けします。

―― 1月の公演は、沖澤さんが常任指揮者を務める京都市交響楽団の堺特別公演。世界的に活躍する注目のピアノデュオ、ユッセン兄弟との共演で華やかな公演になりそうですが、まず、今回のプログラムについて教えてください。
この公演で取り上げるブーランクの《2台のピアノのための協奏曲》は、ユッセン兄弟の十八番です。また、後半に取り上げる《火の鳥》は、ご存じの方も多いかもしれませんが、ストラヴィンスキーの三大バレエのひとつです。一昨年の4月に京都での定期公演で《ペトルーシュカ》を取り上げ、手応えを感じたんですね。それで、京響の皆さんとストラヴィンスキーの三大バレエをすべて取り上げてみたいと思ったんです。それでこの作品を選び直しました。どちらの作品も華やかで、音がはじけるような新年にピッタリのプログラムになりました。

―― ブーランクの《2台のピアノのための協奏曲》は、明るくノリの良い作品で、ユッセン兄弟の魅力を存分に味わうことができそうですね。
彼らは今年の夏から秋にかけて、オーストラリアとニュージーランドを巡る大規模なツアーを行い、その中のメルボルン交響楽団との公演で共演したんです。実はそのときもこの作品を演奏して、それはかなり盛り上がりました。切れ味の良い音を聴かせたかと思えば、モーツァルトを思わせる素朴なメロディも豊かに表現して聴衆を魅了します。そうしたところを、大阪の皆様にもお届けできたらと思います。また、実際に彼らの演奏スタイルを間近で見ていて興味深いのが、通常ならお互いにアイコンタクトを取ったり、何らかの合図を出したりするところでも、見た目に分かるような合図をほとんど出さないんです。それでも不思議なくらい自然に合ってしまう。その一体感にも注目していただきたいですね。

―― 《火の鳥》は「1910年全曲版」が演奏されますが、聴きどころは?
オーケストラの演奏会では、ストラヴィンスキー自身の編曲による組曲が取り上げられることが多いのですが、今回は「1910年全曲版」をお聴きいただきます。組曲版がかなりコンパクトに編曲されているのに対して、この版はバレエのために書かれたオリジナルの音楽ですので、編成も大きく、長大で、技術的にもチャレンジングな作品です。けれどもやはりストーリーの流れが自然で、まるで物語を読んでいるような感覚で音楽を味わっていただけると思います。冒頭から幻想的な世界に引き込まれますので、ぜひ会場で、《火の鳥》の世界に浸っていただきたいですね。

◎Interview&Text／向後由美

11/14 SATURDAY【チケット発売中】
「東京混声合唱団 堺特別演奏会」
■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥4,500　U-25(25歳以下)¥2,500

'27 1/17 SUNDAY【チケット発売中】
「京都市交響楽団 堺特別公演」
■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定　SV6,000　AV5,500　BV4,000
■お問合せ／フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール) TEL.072-223-1000

REPORT
びわ湖ホールプロデュースオペラ モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』制作発表

現在休館中のびわ湖ホールだが、恒例のプロデュースオペラは会場を音響の良さが評判の守山市民ホールに替えて、モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』を上演する。8月末に行われた制作発表には、芸術監督の阪哲朗、演出家の中村敬一、ドン・ジョヴァンニ役の大西宇宙、ツェルリーナ役の高田瑞希(びわ湖ホール声楽アンサンブル)が出席し抱負を語った。



モーツァルトの音楽と個性豊かなキャストが描く、濃密な人間ドラマ

阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督/指揮)、大西宇宙(バリトン)、高田瑞希(びわ湖ホール声楽アンサンブル/ソプラノ/中村敬一(演出)(左より)

◎指揮／阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
『ドン・ジョヴァンニ』は登場人物のキャラクターが濃く、尖っています。とりわけドン・ジョヴァンニ役の存在が大きいのですが、大西宇宙さんと池内響さんという今が旬のお二人を迎えることが出来ました。今回はオーディションではなく、この役ならこの人!という方にお願いしました。モーツァルトは登場人物の濃いキャラクターを表現するのに、ヘンデルやバッハから学んだ対位法に半音階を融合させる手法を用いました。このキャストならそういった効果も楽しんでいただけるはず。今回フォルテピアノの弾き振りをしますが、ヨーロッパでは特別な事ではありません。緊張感あふれる演奏にもご期待ください。

◎演出／中村敬一
現在、びわ湖ホールは休館中ですが、頭脳となるスタッフは元気に働いています。今回はびわ湖ホールの頭脳を超え、滋賀県内の文化施設の頭脳が結集した素晴らしい舞台をお届けしたいですね。ドン・ジョヴァンニという役を僕は"月"の様だと考えています。"月"を照らしているのは"太陽"で、それが3人の女性の登場人物ではないでしょうか。"太陽"に照らされたドン・ジョヴァンニがどのように輝き、歌い演じるか。"太陽"となる3人の動きにもご注目ください。

◎バリトン／大西宇宙(ドン・ジョヴァンニ役)
びわ湖ホールプロデュースオペラ初登場は2021年の「ローエングリン」で、これがワーグナーデビューとなりました。モーツァルトは大学院の卒論で「レクイエム」を取り上げるほど好きな作曲家。「ドン・ジョヴァンニ」は何故だか当たり役だと言われていますが、実は今回が2度目なんです。モーツァルトがこのオペラを作曲している時、フランス革命に至る時代変革の足音が聞こえ始めていました。彼はフランス革命の理念をこの作品に託しているように思えるのです。3人の女性、ドンナ・アンナには「自由」を、ツェルリーナには「平等」を、ドンナ・エルヴィーラには「博愛」を与えているのではないでしょうか。3つの理念を意識し、キャストの皆さんと素敵な舞台を作り上げるのを楽しみにしています。

◎ソプラノ／高田瑞希(ツェルリーナ役/びわ湖ホール声楽アンサンブル)
「ドン・ジョヴァンニ」はコロナ禍の大学4年の時に、アクリルパーテーション越しにドンナ・アンナを勉強しましたが、ツェルリーナは初めて演じます。3人の女性がどのようにドン・ジョヴァンニと対峙するのかは、この作品の見どころのひとつだと思います。ツェルリーナは可愛いだけでなく、したたかな魅力を持っています。皆さまよくご存知のアリアは、しっかりと歌い上げたいです。今回、びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが主要キャストとして起用されました。ソリストとしての質の高さをこの機会に示したいと思っています。

◎Text／礒島浩彰

'27 1/23 SATURDAY・24 SUNDAY【チケット発売中】
守山市民ホール開館40周年記念公演
びわ湖ホール プロデュースオペラ
モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』全2幕
■会場／守山市民ホール(滋賀県守山市) 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／SSV15,400(取扱終了)　SV11,000　AV8,800
BV5,500(取扱終了)　U30(30歳以下)¥3,300
U24(24歳以下)¥2,200
■お問合せ／びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136(10:00～17:00)

SPECIAL INTERVIEW 02
猪居亜美 Ami Inoi

クラシック・ギター一本で、ロックの魂まで弾き切る!
ジャンルを越えた音楽の世界





「第39回GFA国際ギターコンクール」第4位入賞と実力は折り紙付きの猪居亜美が、クラシックに加え愛するロックやメタルの楽曲をクラシック・ギターで演奏するコンサートシリーズ「CLASSIC×ROCK」が、クラシック音楽の殿堂 住友生命いずみホールで開催される。特別版「LEGENDS」とはどのようなものなのか。猪居亜美が語ってくれた。

―― クラシック・ギターは何歳から始められたのですか。ロックとの出会いや、気持ちの変遷なども教えてください。
4歳です。父親がクラシックのギタリストで、6歳上の兄も私も父から教わりました。当初、父の関心は優秀な兄に向いていて、私は好き勝手に弾いていたのですが、私が6歳の時にジュニアコンクールに優勝してからはスパルタ教育がスタート。毎日、模性論に泣かされました。中学の時に友達の影響でX JAPANに出会ったのは衝撃的でした。ギターの音数の多さや迫力のドラムに完全にハマり、高校ではバンドを結成してコンテストにも参加。父からは「クラシックをやりなさい。ただし、ギター音楽大賞で優勝したらエレキを弾くことを許してやる。」と言われ、頑張って優勝しました。クラシックでは努力が成果に繋がるのにエレキは結果に結び付かず、あえ無く挫折。大阪音大に進み、藤井敬吾先生、福田進一先生の指導に触れ、クラシック・ギターが楽しくなってプロを目指したいと思うようになりました。色々考え、当時登場したばかりのYouTubeに着目。自分の演奏が世界中の人とつながる可能性に賭けてスマホで撮影した演奏を上げていたら、フォンテックのプロデューサーの目に留まり、デビューが決定。そのままコンサート活動が始まり、プロの道を歩み始めました。

―― ロックをクラシック・ギターでというと、武満徹のビートルズが頭に浮かびますが、あれはロックというより名曲としてのアプローチ。猪居さんはロックやメタルの超難級のナンバーをストレートに編曲されていて、随分と趣が違いますね。
武満さんのビートルズは、作曲家・武満徹とビートルズの世界観がギター体となった作品ですよね。私がこだわっているのは、クラシック・ギター1本で聴こえてくる音楽すべてを演奏すること。ギターリフやベースラインも再現しているので、音数は当然多くなります。そして、クラシックの奏法でどこまで原曲ロックに近づけるかにこだわっています。ピックを使ったり、スラム奏法のようなギターを叩くこともやりません。ロックのビートやグルーヴ感を大切にし、クラシック奏者が弾いているロックにはならないように心掛けています。雑誌の対談で敬愛する"LOUDNESS"のギター高崎晃さんが「全部の音を弾いていて驚いた。クラシック・ギターで聴くと、こんなに良い旋律を書いていたんだって、改めて思ったわ。」と言っていただいたのは、原曲へのリスペクトを常に持って演奏しているだけに嬉しかったです。

―― 今回、住友生命いずみホールの自主企画『ミュージック・サプリvol.19』で「CLASSIC&ROCK」シリーズの特別版"LEGENDS"としてコンサートが行われます。
憧れの住友生命いずみホールのステージで初めて演奏させて頂きます。クラシック・ギタリストにとって特別なホールだという事で、福田進一先生からは「凄いわ!」、兄からは「いずみホールで弾くんだって?!」と、思いのほか反響が大きいです。プログラムは、ジャンルを問わず誰もが知っている「レジェンド」を集めて、例えばディープパープルのギター、リッチー・ブラックモアはバッハのこんな所に影響を受けて、みたいなストーリーを語りながら、クラシックとロックの融合を考えてみようかなと思っています。きっと面白いコンサートになるはずです。当日はクリスマス。一緒に盛り上がりましょう。

◎Interview&Text／礒島浩彰

12/25 FRIDAY【チケット発売中】
ミュージック・サプリ Vol.19
「猪居亜美 CLASSIC & ROCK LEGENDS」
■会場／住友生命いずみホール　■開演／19:00
■料金(税込)／一般¥3,000　U-30¥1,000
■お問合せ／住友生命いずみホールチケットセンター TEL.06-6944-1188(10:30～17:00 日・祝休)

2026年 11月・12月 京都南座 公演のご案内

11月公演 3日(火・祝)→25日(水) 大好評発売中







ひょんなことから始まった、3人のおばちゃまの奇妙な共同生活!?

金融会社社長の武市浩蔵が、妻の松子（**高橋惠子**）を遺し、ぽっくり死んだ。一代で会社を大きくした浩蔵だったが、死んだ後には莫大な借金が残り、その返済のため浩蔵の妹・タキ（**山村紅葉**）の家と、本宅の一部が売却された。

そんな中、松子の家にタキが荷物をもって突然引っ越してきたと思いきや、追い打ちをかけるように、愛人の駒代（**川中美幸**）まで部屋を貸してほしいと転がり込んできて……!? 三人のおばちゃまたちの、奇妙な共同生活が突然始まった！

昭和を代表する作家の一人、有吉佐和子原作の傑作喜劇が、多くの声にお応えして、南座でふたたび上演！今回は舞台を大阪・帝塚山に移し、会場を大爆笑の渦に巻き込みます。



取材会レポート



高橋「川中さん、山村さんとは初共演ですが、初めてお会いしたときから意気投合しました！誰しもいつか亡くなるものですが、生きている間に笑ったり泣いたりすることが、どんなに素晴らしいことかを表現できたらと思っています。」

川中「私は愛人の駒代役を演じます。惠子さん演じる松子は正妻として完璧すぎるお役だからこそ、私は少し大雑把で愛嬌のある、かわいらしい駒代を演じたいと思っています。」

山村「私は京都出身で、幼いころから馴染みある南座に出演できることは嬉しいです。私が演じる妹のタキは、無邪気で可愛らしい面がありつつも自由奔放なキャラクターで、自分と似ているところもあると感じています。お二人が温かく受け止めてくださると信じて、思い切りはっちゃけたいです。」



12月公演 1日(火)→24日(木) まもなく！11月9日(月)午前10時 電話・Web 受付開始！

【窓口販売・切符のお引取りは11月11日(火)より】
※窓口販売用別枠でのお取置きはございません。





京の師走を彩る歌舞伎の祭典

『**正札附根元草摺**』曽我兄弟を描いた、荒事の趣向と華やかさを併せ持つ舞踊。

『**絵本太功記**』本能寺の変を素材にした、重厚な義太夫狂言の傑作。

『**音羽嶽だんまり**』尾上辰之助の襲名披露狂言。歌舞伎の様式美溢れる音羽屋ゆかりの演目。

『**河内山**』七五調の名台詞が大きな見せ場の黙阿弥の名作。

〈昼の部〉の見どころ

〈夜の部〉の見どころ

『**野崎村**』劇中口上をもって尾上辰之助の門出を寿ぐ、切ない世話浄瑠璃の名作。

『**萬歳**』街の様子や風俗を明るい雰囲気で魅せる軽妙かつ賑やかな舞踊。

『**女伊達**』勇ましい女性のすっきりとした格好良さを描いた一幕。

『**団子売**』一年を締めくくる歌舞伎の祭典にふさわしい、幸福感に満ちた舞踊。

『**木挽町のあだ討ち**』文学賞をW受賞した話題作を歌舞伎舞台化。芝居小屋に生きる人々を描いた心温まる逆転劇。





京都四條 南座
〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰 電話 075-561-1155
松竹ホームページ https://www.shochiku.co.jp
歌舞伎美人（かぶきびと）https://www.kabuki-bito.jp

チケットホン松竹（10:00～17:00）
0570-000-489 または 06-6530-0333
チケットWeb松竹（24時間受付 受付初日は10:00より）
チケット Web 松竹

チケットぴあ
ぴあ 南座
Pコード 「三婆」 538-485 「顔見世興行」 545-108
w.pia.jp/t/minamiza/

ローソンチケット
ローチケ 南座
Lコード 「三婆」 53799 「顔見世興行」 56172
l-tike.com/minamiza/

イープラス
e+ 南座
eplus.jp/minamiza/

前売券取扱所：
南座・歌舞伎座・新橋演舞場
団体のお申し込み・お問い合わせは：
075-561-1155（販売営業）まで

SPECIAL INTERVIEW 03

高橋惠子 Keiko Takahashi

「笑わせるためには本気で真面目に」高橋惠子が語る喜劇『三婆』と原動力

有吉佐和子の原作を舞台化した爆笑喜劇『三婆』が、京都・南座で上演されます。妻、愛人、夫の妹という立場の異なる3人の女性が、夫の死後、ひとつ屋根の下で暮らすことになり、ひと騒動を繰り広げる。本妻の武市松子を演じる高橋惠子に、喜劇への向き合い方や松子が生きた時代、そして女優の道を歩み続ける原動力を聞きました。

――「爆笑喜劇」と銘打たれている『三婆』。笑いを生むためには、どんなことが大切だと考えていますか。

子供の頃、テレビで松竹新喜劇をよく見ていました。笑いが好きなんです。笑わせるためには、本気で真面目にやらないと笑ってもらえない。恥ずかしいという気持ちは捨てて、その役になりきることが大事だと思います。今回は、（松竹新喜劇の）曽我廼家寛太郎さんに学び、川中美幸さんと山村紅葉さんの個性を受け止めて、実際に起こることにビビッと反応したいですね。

―― 高橋さんがお考えになる笑いとは？

笑いはとても高尚なものだと思います。演じる側にも客観性が必要なのでしょうね。昨日、ウケたことが今日もウケるとは限らず、同じことをなぞってもだめ。その時その時にちゃんと反応して、舞台上で生きていないと。お客様の反応が加わるのも、舞台の楽しいところです。お客様の笑い声を感じながら演じることは、映画にはないですから、そこを楽しみたいです。

―― 有吉佐和子作品には、これまでも出演されています。どんな魅力を感じますか。

人間の愚かさやおかしさ、それでも見捨てられないというつながりなど、社会性、エンターテインメント、人間の細やかなところが、バランスよく入っていると感じます。見応えがあって、お客様を楽しませられる作品ですね。

―― 演じられる松子が生きた昭和40年代の女性の立場を、どう捉えていますか。

当時、専業主婦が自分で生計を立てるのは難しかった。夫に浮気されても、家を飛び出すという選択はなかなかできない。でも、松子を憐れむ気持ちはありません。その時代、その立場で、松子なりに生きてきたのでしょう。夫の社会的な立場を考えて家を整えることもしていたはずです。

―― 高橋さんご自身も、男性が多い映画の現場からキャリアを重ねられました。

デビューした頃はスタッフのほとんどが男性で、女性は記録係の方など、ごく少数でした。でも若い頃は特に「女を武器にしない」、「本物の女優になるぞ」と思っていました。今振り返ると、結構強かったんでしょうね。

―― 長く舞台に立つうえで、大切にしている習慣はありますか。

稽古場での挨拶です。「おはようございます」と言った瞬間に、日常から座組の一員へと切り替わる。家で何かあっても、ここからはこの人たちと作品を作るんだ、と。終わりの「お疲れさまでした」も大事にしています。言わなくても分かるだろうと思っても、意外と伝わっていないことがありますから、言葉を交わすことが大切ですね。

―― 今、女優を続ける原動力は何ですか。

声をかけていただけることがありがたいですし、初めてお会いする共演者と「この人たちと一緒にやっていくんだ」と思うことも原動力です。お客様から「舞台を拝見しました」と声をかけていただくのもにもなります。最近は、朝、目が覚めて「今日も息をしている」と思い、今日一日をいい日にしようと思うんです。原動力は、いろいろなところに転がっている気がしますね。

□Interview&Text／岩本和子 □Photo／佐藤純子

11/3 TUESDAY～25 WEDNESDAY
【チケット発売中】
爆笑喜劇『三婆』

■会場／南座 ■開演／詳しい情報はHPをご確認ください
■料金（税込）／1等席（1・2階）¥14,000 2等A席（3階1列目）¥7,000
2等B席（3階2列目以降）¥4,000
■お問合せ／チケットホン松竹 TEL.0570-000-489（10:00～17:00）



REPORT

新妻聖子×蘭寿とむ Seiko Niizuma × Tomu Ranju



新妻聖子・蘭寿とむ、Wクルエラで挑む『101ダルメシアンズ』日本初演

2022年にロンドンで初演し、イギリス全土で話題を集めたミュージカル『101ダルメシアンズ』が日本に初上陸する。8月の記者会見に、クルエラ・ド・ヴィル役をWキャストで演じる新妻聖子と蘭寿とむ、演出の石丸さち子、パペットクリエイター兼ディレクターのジミー・グライムスが登壇し、公演への思いを語った。

会見は、ジミー・グライムスが操るダルメシアンのパペットが会場を駆け回るパフォーマンスから幕を開けた。走り、吠え、じゃれ合うリアルな仕草は愛嬌たっぷり。突然、犬たちが唸り声を上げて退場すると、続いてクルエラ・ヴィルの衣装をまとった新妻聖子と蘭寿とむが登場。毒々しくも最高にかっこいい歌唱パフォーマンスを披露した。前日には全キャストによる本読みがあったばかり。犬好きだという新妻は、悪役らしからぬエピソードを話した。

新妻：初めて全編を通してセリフを聞いたのですが、自分の出ていないシーンで泣いてしまって。こっそり泣いていたつもりが全員にバレてました（笑）。この舞台は犬の目線で描かれた家族の物語です。誰もが心の中に持っている温かい場所をチョンと突かれて、涙が出てしまうんです。コミカルな場面では、お子さんのクスッ、アハハという可愛らしい笑い声が劇場中に響き渡るんじゃないかなと想像しています。

一方、蘭寿は企画を聞いた時の高揚をそのままに語り出した。

蘭寿：「101匹わんちゃん」の世界観がミュージカルになるなんて、絶対に楽しくなるに決まっています。クルエラ役だと伺って、究極の美を突き詰める「正義の悪女」を作り込みたいという思いが湧き上がってきました。演出の石丸さんからは、規格外の大きさの女を演じてほしいと言っていただいたので、それを念頭に作り上げたいと思っています。

楽曲の話題になると、2人の掛け合いが弾んだ。

蘭寿：聴いている分にはかっこよくてハートフルな音楽なんですけど、歌ってみるとものすごく難しい。新妻さんが音を軽々と行き来して歌っていらっしゃるのが素晴らしいです。

新妻：低音の響きが特徴的な楽曲も多いので、蘭寿さんが歌うのをそぞくしながら、色っぽいなと思って聴いています。

蘭寿：ありがとうございます。

新妻：あと、この衣装を着るとなんだかテンポがゆっくりになるんですよね。

蘭寿：そう、やたらと圧が増してしまう（笑）。

本作の要は、俳優が操るパペットの犬たちだ。鍵はブレス（呼吸）とフォーカス（目線）だとグライムスは言う。犬たちの細かい動きや仕草が、「あの子は何を考えているんだろう」と観客の想像を膨らませる。その現場に、2人のクルエラは早くも揺さぶられている。

新妻：物体に命を吹き込むことは、俳優の仕事にも通じること。パペットの犬たちの動きと、それを動かす役者の感情表現がガッチリとハマった時に、エネルギーが倍々に膨れ上がって、クルエラに向かってくる。犬に食べられてしまわないようにと、クルエラもドンと構えて立っていたいですね。

蘭寿：気の強いわんちゃんがいたり、可愛らしいわんちゃんがいたり、みんな個性が違う。じつは私も、稽古場で歌を聴いた時に泣いてしまって…。ジミーさんたちがパペットに命を吹き込んだら、どんなものが生まれるのか楽しみです。私もそれを受け止められるだけのクルエラを作りたいと、本気で思っています。

□Text／北島あや

11/7 SATURDAY～15 SUNDAY【チケット発売中】
ミュージカル『101ダルメシアンズ』

■会場／梅田芸術劇場メインホール
■開演／11月7日(土)・14日(土)12:00、17:00 11月8日(日)・15日(日)12:00
11月10日(火)・11日(水)・12日(木)・13日(金)13:30
■料金（税込）／全席指定【平日】S¥14,000 A¥10,000 B¥5,500
【土日】S¥15,000 A¥11,000 B¥6,000
■お問合せ／梅田芸術劇場 TEL.0570-077-039
（10:00～13:00、14:00～18:00）

SPECIAL INTERVIEW 04

藤山大樹 Taiju Fujiyama

もうひとつの日本の伝統芸能である「和妻」。日本的マジックの歴史を革新に変える公演に注目！

江戸期に今の形に成立したとされる日本独自の芸能である「和妻」。その第一人者として卓越した演技で、日本のマジック界最年少で芸術祭賞受賞のほか、日本マジック界の最高峰とされる松旭斎天洋章受賞など、数々の栄誉に輝く藤山大樹。本格的な和妻公演の見どころを聞いた。

―― 和妻という芸能は、いつごろから発展していったものなんでしょうか？

これには本当に諸説あるんですが、いわゆる日本の伝統芸能の成立と並走する形で先人たちが磨き上げていった芸が、江戸期には成熟して現在、私たちが演じているスタイルが確立したとされます。

―― 和妻の芸でこれは！といった定番の芸には、どんなものがあるんでしょうか？

扇子や羽子板の先から水が飛び出す「水芸」、紙で作った蝶を自由に操って不思議を創り出す「胡蝶の舞」あたりが定番でしょうか。それぞれ演じる方によって演出は変わりますが、基本は和妻の伝統を継承したものになっています。他にも傘を使ったりお椀を使ったりと様々な演目があるんです。

―― 藤山大樹さんが、この伝統芸能としての日本のマジックの道を進まれた経緯を教えてください。

高校生の頃から手品に興味があって、よくテレビでやっているトランプやコインを使ったクロースアップマジックというジャンルに魅せられて、どっぷりマジックの世界にはまっていました。大学生の頃はマジックサークルに所属して、ステージで行うマジックを演じていました。そんなマジック漬けの学生時代に、私の師匠である藤山新太郎の和妻を拝見する機会があって心から感動いたしまして、大学卒業後、直ぐに弟子入りして師匠のもとで研鑽を積んできました。

―― 伝統的な和妻の世界の見どころはどんなところにありますか？

もちろんマジックとしての不思議さは大事なんですが、それに加えて、音曲、衣裳、小道具といったそれぞれの魅力が織りなす和の総合芸術として楽しんでいただきたいです。今回の公演では柝家七三社中による三味線、笛や尺八、打楽器などによる名演奏と共に、伝統芸として引き継がれてきた華麗な衣装や道具の数々にも見どころはたくさんあると思います。

―― 今回、関西での本格的な和妻公演はとても珍しいように思うのですが。

東京での公演は多いのですが、邦楽の生演奏とともに繰り広げる本格的な公演は、関西では久しぶりです。茨木市市民総合センターは関西の都心部からもアクセスがすごく良いですし、出来るだけ多くの方に日本の伝統芸能の新しい形としての和妻を堪能いただけたら嬉しいですね。

―― 和妻の大家としての未来に向けての抱負をお聞かせ願えますか？

日本の伝統芸能の継承という重責に思いを馳せつつではありますが、私たちの和妻を通して広く日本の伝統文化に触れてほしいですね。歌舞伎、文楽、狂言、茶の湯など、なんでもいいので日本の文化の再発見のきっかけに和妻がなれれば素晴らしいことだと思っています。ぜひ和妻の真髄を体感しに来ていただきたいと思っております。

□Interview&Text／石原卓

2/6 SATURDAY【11/6(金)～チケット発売】
「日本伝統奇術 和妻」

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール
■開演／15:00
■料金（税込）／一般¥3,000 U25¥1,000
■お問合せ／茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055（10:00～17:00）



SPECIAL INTERVIEW 05

山部泰嗣 Taishi Yamabe

異彩の太鼓演奏家が生み出すのは、生命の躍動と流転のグルーヴ！

伝統芸能の枠を超え、MIYAVIやきゃりーぱみゅぱみゅなどのジャンルレスなアーティストとコラボする一方、太鼓演奏家、舞台演出家として存在感を放ってきた山部泰嗣が、太鼓で挑む哲学的な舞台芸術「バンタレイ」が、いよいよ大阪へやってくる。12月の公演を前に、今作へ込めた想いを聞いてみた。

―― 2025年東京、2026年6月に福岡、そして今回は大阪での公演となります。「バンタレイ」とはどういう意味でしょうか。

古代ギリシャの哲学者ヘラクレイトスが唱えた「万物は流転する」という思想を基にしています。人間の人生も儚く、出逢いも別れもありながら一喜一憂しつつ未来を作っていくものだ、という生命の躍動感を太鼓の音に託しました。

―― 公演は2部構成で、一幕が山部さんと太鼓チーム「RUMBLE」による共演「バンタレイ」となりますが、一番の見どころは？

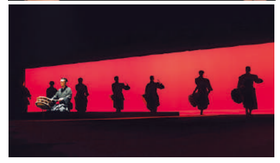
太鼓の魅力とは、なんといっても振動が大きいこと。耳だけじゃなく足元から全体で感じてもらえたらうれしいですね。太鼓は他の楽器に比べると音階を感じにくいと思うのですが、実は打つ強さや音の長さによって多彩な音階が出るんです。それをどう組み合わせていけばアンサンブルとして成り立ちうるか。それを探求するのも魅力のひとつなんですよね。また、演出のひとつでいうと、演奏の途中で、ステージ上に白い枠が登場します。その真ん中で僕は太鼓を打ち続けているのですが、別の奏者が枠の中に入ってくるときに、線の前で一旦立ち止まるよう指示しているんです。なぜかというと、人が新しいことを始める時、不安で悩んだり一瞬躊躇するでしょ？それでも一歩を踏み出せば新しい世界が広がっていくのだということを表現したかったからです。舞台上では周りで人が動き、音やリズムが変化していくけれど、僕は枠の中心で太鼓を打ち続けている。止まってしまうと何も起きないけれど、僕から前後左右斜めに太鼓の音が鳴り続けていけば、僕を中心にまた形を変えて進むことができる。まさに「流転」なんです。このテーマは、僕が6歳で初舞台を踏んだ「倉敷天領太鼓」のボスから教わったことと。彼は人が去ってしまっても、他人に自分を預けはしなかったし、止まりもしなかった。新しいことをやる時、流転しながら進んでいくことは、僕も太鼓人生で経験してきたことですから。

―― 生と動、拡大と縮小、流転。そういう世界を太鼓と動きで表現しているのですね。2部では尺八や津軽三味線が登場するとか。

はい。津軽三味線の浅野祥さん、尺八の石垣征山さん、太鼓と鳴り物の前田剛史さんといった和楽器奏者のみなさんと共演します。こちらはにぎやかな和楽器コンサート。太鼓って歴史やルーツの違う和楽器を一つに繋げられる多面性があると思います。ほかの楽器と太鼓が、ショーとして演奏し始めたのは、ここ50年ほど。僕はその半分に関わってきましたから、これまでの歩みや流れを理解しつつ勉強を深め、時に壊し、再構築していくことを恐れずに進んで行けたらと思っています。海外でも太鼓人口が増えているんですよ。だから、僕の舞台を見て刺激を受けた若い世代が、国内海外問わず新しい太鼓文化を作って行ってくれたら面白いなと。そこの先も僕自身が「バンタレイ」を続けていきたいと思っています。あるひ全く別の演奏者が現れて、その人の思う「バンタレイ」を作っていく、というのもまた面白いですよね。それもまた「流転」なんです。

□Interview&Text／田村のりこ



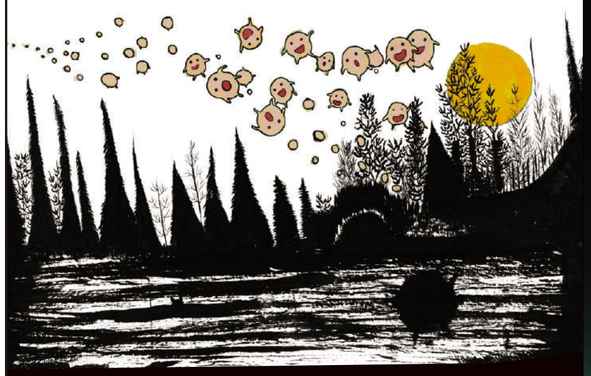


12/11 FRIDAY【チケット発売中】
「バンタレイ」

■会場／NHK大阪ホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定¥6,000
■お問合せ／サンライズプロモーション
TEL.0570-00-3337（平日12:00～15:00）

チケットぴあ Special Selection

チケットぴあは音楽、スポーツ、演劇など、あらゆる催し物のチケットを販売しております。
その中でも、今、ぴあがイチオシするエンタテインメントを厳選してピックアップ！



この時代を
どうやり過ごすか。

禅とジブリ

2026年
10月3日(土)～12月6日(日)
休館日：10月12日(月・祝)、11月2日(月)
開館時間：10時～18時（最終入場は17時30分まで）
京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ
主催：京都市京セラ美術館、京都新聞社、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、公益財団法人 徳間記念アニメーション文化財団
企画協力：スタジオジブリ（日本テレビ）
協賛：ノエビア株式会社、ダイキン工業、ロート製薬、竹中工務店
後援：京都府、京都市、京都商工会議所、京都観光協会、京都市観光協会、京都市教育委員会、京都府教育委員会、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都放送、京都三条ラジオカイト、京都コンピュータ学院、京都芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都先端科学大学、京都橘大学、京都光華女子大学、京都女子大学、京都ノートルダム女子大学、佛教大学、龍谷大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、同志社大学、同志社女子大学、花園大学、ルネサンス京都ホテル、ホテルグランヴィア京都、ホテルオークラ京都、京都ブライトンホテル、京都東急ホテル、京都ホテルオークラ、ホテルモントレ京都、ロイヤルパークホテル、ロイヤルパークホテル ザ 京都、ウェスティン都ホテル京都



Osaka Shion Wind Orchestra
第169回定期演奏会
GORDON JACOB
イギリスの楽匠、ゴードン・ジェイコブの遺産

2026
11/21(土) 開演14:00(開場13:00)
ザ・シンフォニーホール 好評発売中

Program
◆オリジナル組曲　◆ティンパニと吹奏楽のための協奏曲 ソリスト:高鍋 歩(Osaka Shion Wind Orchestra打楽器奏者)
◆ウィリアム・バード組曲　◆吹奏楽のための協奏曲　◆サー・ゴドフリー・ネラー行進曲　◆カンタベリー礼賛

指揮 ダグラス・ボストック
(首席客演指揮者)

BOSTOCK'S JACOB JOURNEY

Osaka Shion Wind Orchestra
第170回 定期演奏会

Program
ファンファーレ「閃光」
大仏と鹿
風の精
波の通り道
半音階的狂詩曲
交響曲［世界初演］



Itaru Sakai.
作曲 酒井格
大阪から世界へ～酒井格作品集

2027
1/23(土) 開演14:00(開場13:00)
ザ・シンフォニーホール
10月22日(木)発売



Takeshi Ooi
指揮 大井剛史
©Ayane Shindo
©飯島隆
演奏 Osaka Shion Wind Orchestra

住友生命いずみホール 特別演奏会
2人のコンチェルト

日本初演
ピッコロとウインド・アンサンブルのための協奏曲「歌の翼に」(E.イウェゼン)
［ピッコロ 礒田 純子］





クラリネット協奏曲(V.ネリベル)
［クラリネット 古賀 喜比古］



©Koichi Miura
©飯島隆

2027
2/7(日) 開演15:00(開場14:00) 住友生命いずみホール
◆吹奏楽のための協奏的序曲(藤掛廣幸)
◆ウインド・アンサンブルのための協奏曲(K.デイ)ほか
11月5日(木)発売
指揮 現田茂夫　演奏 Osaka Shion Wind Orchestra

TICKET INFORMATION
〈全席指定・消費税込〉

［第169回・第170回 定期演奏会］S席 6,000円 | A席 5,000円 | B席 4,000円 | C席 2,500円 | 学生価格 3,000円
［住友生命いずみホール特別演奏会］S席 4,500円 | A席 3,500円 | B席 3,000円 | 学生価格は各席種 500円引き

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。［主催］公益社団法人 大阪市音楽団　［後援］大阪市教育委員会、大阪府吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、(一社)奈良県吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、和歌山県吹奏楽連盟

プレイガイド
◆Shionチケットセンター［フリーコール］0800-919-5508(土・日・祝を除く10:00～17:30)
◆Shionオンラインチケット https://shion.jp/ticket/ Shionオンラインチケット
◆チケットぴあ ◆ローソンチケット ◆イープラス ◆CNプレイガイド

主催 お問合せ
公益社団法人 大阪市音楽団
大阪市住之江区緑木 1-4-138
フリーコール 0800-919-5508(土・日・祝を除く10:00～17:30)
https://shion.jp

Osaka Metro
Osaka Metroは、Shionを応援しています。

Shion Osaka Shion Wind Orchestra

ON THE WIND by SHION
Vol.03

プロと一緒に吹く。その一日が、音楽をもっと好きにする。

Osaka Shion Wind Orchestra(通称「Shion」)が開催する「月イチ吹奏楽」は、一般の楽器愛好家が自分の楽器を持ち寄り、Shionのメンバーと一緒に演奏を楽しむ参加型イベントです。まずはパートごとにプロから直接アドバイスを受け、続いて全員で大合奏。さっきまで別々に練習していた音がひとつになり、大きな響きへと変わっていく。その瞬間は、演奏する側だからこそ味わえる特別なものなのです。プロからもらうアドバイスのひと言が、次の練習への励みになることも。知らなかった奏法を教わり、今まで出せなかった音が出せるようになる。そんな小さな発見も、このイベントの楽しみのひとつです。楽器を始めたばかりの人も、長く続けている人も、ここではみんな『音楽を楽しむ仲間』。年齢や経験を越えて、ひとつの曲を一緒につくっていく。音楽は、聴くだけでも楽しい。でも、自分で音を出し、誰かと音を重ねることでしか得られない喜びもあります。月に一度、楽器を持って出かける！プロと一緒に音楽をつくる！
その一日が、きっとまた「吹きたい」という気持ちにつながっていく。「月イチ吹奏楽」は、音楽を「聴く」から「ともにつくる」へ。そんな新しい楽しさに出会える場所なのです。